



# Chemistry at Work

アニュアルレポート 2021

信越化学工業株式会社

## 企業規範

遵法に徹して公正に企業活動を行い、  
素材と技術によって  
他の追随できない価値を  
社会と産業のために生み出す

## CONTENTS

- 1 会長メッセージ
- 2 社長メッセージ

### 信越化学グループの価値創造ストーリー

#### 沿革

- 4 価値創造の軌跡と未来

#### ビジネスモデル

- 6 信越化学グループの「今」

#### 特集

- 8 塩ビ
- 10 半導体

#### サステナビリティ

- 12 サステナビリティへの多面的な取り組み
- 12 ESGの推進
- 14 重要課題(マテリアリティ)の特定
- 16 人材
- 18 環境
- 21 ガバナンス
- 24 社外役員の活動状況
- 25 マネジメント
- 26 非財務データ

### データセクション

#### 事業概況

- 27 事業一覧
- 28 塩ビ・化成品事業
- 30 半導体シリコン事業
- 32 シリコン事業
- 34 電子・機能材料事業
- 38 機能性化学品事業
- 40 加工・商事・技術サービス事業
- 41 信越化学グループの技術・原料・製品チャート

#### 財務情報

- 42 10年間の財務サマリー
- 44 連結貸借対照表
- 45 連結損益計算書／連結包括利益計算書
- 46 連結株主資本等変動計算書
- 47 連結キャッシュ・フロー計算書

#### 会社データ

- 48 信越化学グループ主要拠点
- 50 投資家情報

### より詳しい情報はこちらへ

#### IR情報

<https://www.shinetsu.co.jp/jp/ir/>

#### サステナビリティ情報

<https://www.shinetsu.co.jp/jp/sustainability/>

## 会長メッセージ



経済環境の変化へ迅速に対応し  
成長の機会を捉え  
企業価値の一層の向上を図ってまいります。

お客さま、お取引先、株主、地域社会の皆さま、信越化学グループの製品をご愛顧いただくとともにさまざまなご支援、ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

2020年度は、国際社会全体が新型コロナウイルス感染症という未知の課題に直面しました。このため、世界的に経済活動が制約を余儀なくされる局面も生じました。当社では従業員の健康と安全を最優先としてリスク管理を徹底するとともに、お客さまとの緊密な意思疎通のもと高品質な製品の安定供給を進めることで着実な成長を図ってまいりました。経営に臨んでかねて「順風にあって危機を忘れず、向かい風の中で成長の布石を打つ」を旨としてまいりましたが、今回もこれに徹して市況の変化等に迅速に対応することで、堅調な業績推移となりました。

当社は引き続き企業価値の向上を目指して2020年度も成長に向けた投資を着実に進めてまいりました。米国のシンテック社では、ルイジアナ州で建設中の塩ビの一貫生産工場が、今年稼働する予定です。また同地では次の塩ビ増設工事にも着手しました。2023年末のこの工事完了後、シンテック社の生産能力は年間362万トンとなり、世界一の塩ビメーカーとしての地位はさらに強化されます。半導体シリコン事業では研究開発、生産工程の革新、安定供給に向けた取り組みを全社一丸となって推進し、お客さまからの高い品質へのご要望にお応えしています。また、シリコン、電子・機能材料事業等の全ての事業におきましても、成長に

向けて研究開発および設備の充実に人材、資金をはじめとした経営資源を積極的に投じています。

持続可能な社会の実現と環境負荷の抑制は、世界全体の課題です。当社では、SDGsに貢献することを経営指針の一つとして、課題解決に資する素材の開発と上市、環境負荷の低減、温室効果ガス排出の削減を進めています。これまでも当社は温暖化防止に寄与する製品を数多く送り出しています。塩ビの製品は資源の有効利用と省エネルギー、さらにリサイクルによる廃棄量の削減に貢献しています。また、半導体シリコンやレア・アースマグネット、シリコン樹脂などは、電気自動車や情報通信機器などに欠かせない素材であり、社会全体の省エネルギー化やDX(デジタルトランスフォーメーション)の進展に貢献しています。当社は生産技術のさらなる革新を通じて、資源の有効利用や温室効果ガス排出の削減に取り組んでいます。今後とも高品質の素材や製品の開発と安定供給、高度な生産技術等に力を注ぎ、持続可能な社会の実現に取り組んでまいります。

これからも当社は皆さまと成長の歩みをともにすることで、企業価値の一層の向上を目指してまいります。皆さまには引き続きご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役会長

金川千尋

## 社長メッセージ



### 世界の産業と人々の生活を支える エッセンシャルサプライヤーとして、 引き続き社会の持続的成長の実現に 貢献してまいります。

1年以上にわたる新型コロナウイルス感染症の流行の中で、私たちは多くのことを学び、さまざまな思索と実践を重ねてきました。世界中が感染症に立ち向かい、各国ともさまざまな規制や行動制限が施される中で、社会、経済、そして市場は変容を余儀なくされました。それとともに新たな展開も生じてきました。その中には一過性のものもありますが、流行の終息後に残るものも少なくないでしょう。この期間を通じて当社は変化に的確に対処し、適応力を発揮してきました。その背景には、前例のない状況や難問に直面する中でそれぞれの業務に集中し続けてきた従業員の存在があります。当社にとって従業員はまさにかけがえのない存在であり、私は大変誇りに思っています。

また、今回の経験は当社の事業構成が社会や経済環境の変化に対しても優れた対応力を備えていることを証してくれました。ただし、私はその対応力が今後の変化にも十分なものであるとは捉えていません。この力を強化し更に磨きをかけ実効性を高めていきます。当社ではさまざまな変化を糧として、より一層の成長を図っていきます。同時に、当社は従来にも増してお客さまとの関係を緊密にしています。すべてのお客さまに最高水準の品質、技術を提供することを通じて、お客さまの業務の遂行をお手伝いする最も信頼できるサプライヤーでありたいと考えて

います。今後とも、お客さまが直面している課題の解決に資する多くの製品を開発していきます。

近年、主要国は温室効果ガス排出量の削減目標を設定し、カーボンニュートラルの達成に向けた動きを加速しています。当社の事業には、それ自体が温室効果ガス排出量の削減に役立つものが揃っています。これらの事業を拡充し、さらに目標に適合したものにしていこう努めていきます。また、環境負荷を抑えつつ人間社会の持続的な発展とその質の向上が強く求められていますが、その実現には効率性を極めていくことが不可欠です。その実現に向けて、当社は重要な役割を担うことができるものと確信しています。当社の多くの製品が産業と人々の暮らしに貢献し、それらが用いられれば用いられるほど持続可能な社会の実現に寄与できるように取り組みます。さらに、温室効果ガス排出量の削減に役立つ技術を可能な限り多く、かつ速やかに導入していきます。世界の産業と人々の生活を支えるエッセンシャルサプライヤーとしての役割を果たします。

グローバル化は再評価され変容し、米中対立に起因する世界経済のデカップリング(切り離し)が起こり得る情勢下で、それが如何に展開しようと、エッセンシャルサプライヤーとして重要な役割を継続して果たすべく、柔軟かつ迅速に取り組みます。

続いて事業セグメントの要旨を説明します。

塩化ビニル樹脂(塩ビ)では、住宅やインフラ向けの需要の増加に加え、環境に対する関心の高まりにより、主要市場での需要の拡大が見込まれています。塩ビは、機能面に加え環境面からも選好される素材です。北米におけるシンテック社の増設は今年半ばに完工し稼働を予定しています。並行して次の増強工事にも着手しました。

シリコン事業では、最終製品の生産能力増強を進め、全世界のお客さまへの品揃えの拡充に取り組んでいます。お客さまの課題解決に貢献する製品と用途の開発をより一層推し進めます。

セルロース事業では、これまで注力してきました製剤用や産業用に加え、食品用でも需要の広がりに応じていきます。農産物の収穫向上に貢献するため、フェロモン製品の品揃えを増やします。森林保護に寄与するフェロモン製品も加えます。ポバール他の製品の新規用途においても拡販を推進します。

半導体デバイスに対する需要があらゆる分野でたいへん強く、半導体の不足が続いています。半導体が戦略物資に位置づけられる中、サプライチェーンの要諦の一角として、さらなる微細化を支える最高の品質とともに製品の安定供給を行います。いわゆる経済の「脱物質化」(ディマテリアライゼーション)に向けたデジタル化に貢献します。

露光関連分野では、進行する微細化、高集積化、多層レジストシステム、先端パッケージングに開発速度を高めて即応していきます。お客さまからの品質や供給量の要望に適時応えるために生産能力の増強計画を加速します。レア・アースマグネットは、自動車(特に在来車に比べ概ね10倍多く希土類磁石を用いる環境対応車)、ファクトリーオートメーション、データセンター、そして風力発電向け用途

が大きく伸長しています。電動モーターや駆動のすべての分野・用途に当社技術を展開します。また希土分離精製技術を積極的に活用していきます。

5G対応製品では、開発と量産対応を加速します。マイクロLED部材、リチウムイオン電池性能向上剤、異種基板材料製品も立ち上げます。

要約しますと、当社は3つの流れを捉えることで成長してまいります。その3つの流れとは、半導体需要の増勢、カーボンニュートラルの進展、そしてインフラや住宅の機能向上に対する需要の高まりです。

当社は株主の皆さまへの還元特に留意しています。1株当たり250円の年間配当金を公表しましたが、これは当社の歴史の中で最も高い配当金額です。

これまでお客さま、株主の皆さま、地域社会に実施してきましたことをこれからも継続していくには、会社が成長し続けることが必須です。事業領域をさらに広げるために多岐にわたる新たな取り組みを進めています。当社は引き続きお客さまとお客さまのニーズにお応えすることに注力し企業統治を適切に行うことで、株主の皆さまに、そして地域社会への責任を果たしてまいります。

株主の皆さまからお寄せいただいている信頼とお客さまのパートナーシップに厚く御礼申し上げますとともに、信越化学グループに働く皆さんの業務への献身的な取り組みに心から感謝申し上げます。

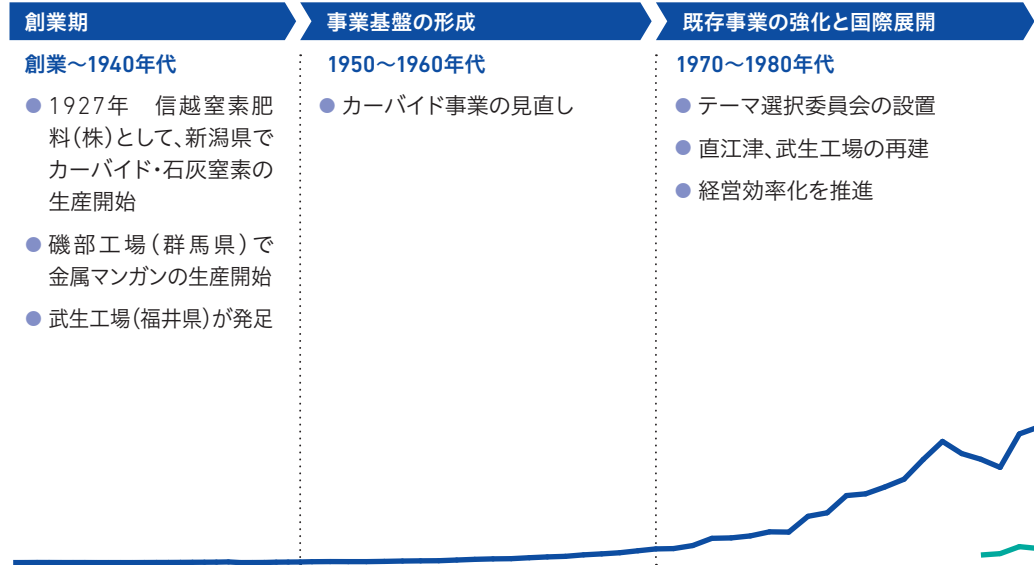
代表取締役社長

奇藤 恭彦

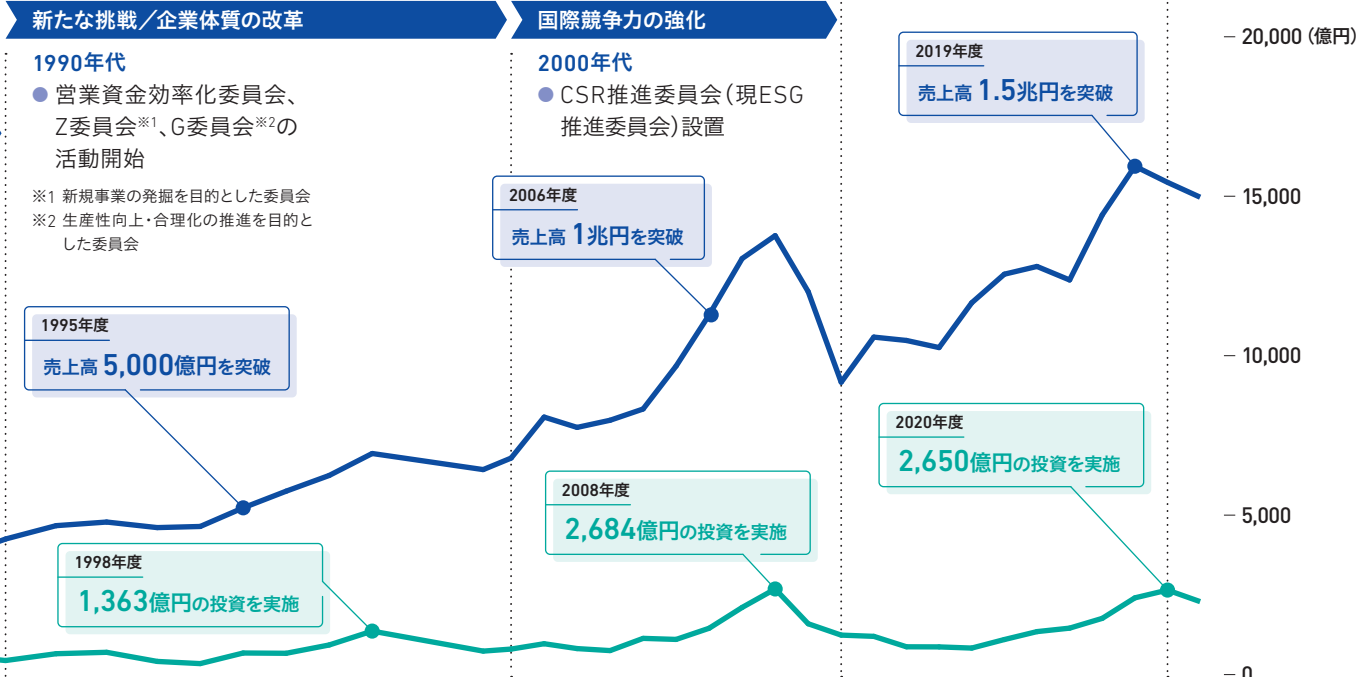


# 価値創造の軌跡と未来

信越化学グループは時代や社会の要請に応え、  
さまざまな製品を生み出しています。  
これからも新たな価値創造を通じて、社会課題の解決に貢献します。



※売上高グラフは1926年度～1977年度は単体、1978年度以降は連結の数値となります。投資額の集計は1987年度以降となります。



|                |                                                                                     |                                                                                                                                                                    |                                                                                                                      |                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                            |                                                                                                          |
|----------------|-------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 塩ビ・化成製品事業      | <ul style="list-style-type: none"><li>● 日本で塩ビの生産開始</li><li>● ポルトガルで塩ビ事業開始</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>● シンテック、テキサス州フリーポートで塩ビ生産開始</li><li>● 鹿島コンビナートへ進出(茨城県)</li></ul>                                                              | <ul style="list-style-type: none"><li>● シンテック、テキサス州で生産能力を増強</li><li>● 欧州で塩ビ事業を拡充(買収)</li></ul>                       | <ul style="list-style-type: none"><li>● シンテック、ルイジアナ州アディスで生産開始</li><li>● シンテック、ルイジアナ州ブラケマインで原料からの一貫工場建設</li></ul>                                           | <ul style="list-style-type: none"><li>● シンテック、ルイジアナ州で生産能力を増強</li></ul>                                                                                                     | <ul style="list-style-type: none"><li>● シンテック、ルイジアナ州でエチレンの生産開始</li><li>● シンテック、ルイジアナ州で生産能力を増強</li></ul>  |
| 半導体シリコン事業      | <ul style="list-style-type: none"><li>● 信越半導体設立</li></ul>                           | <ul style="list-style-type: none"><li>● 海外への展開(マレーシア、米、英で工場建設)</li><li>● 白河工場(福島県)完成</li></ul>                                                                     | <ul style="list-style-type: none"><li>● マレーシアで工場増設</li><li>● 台湾に生産工場を建設</li></ul>                                    | <ul style="list-style-type: none"><li>● 300mmウエハー量産開始</li><li>● 日米で生産能力を増強</li></ul>                                                                       |                                                                                                                                                                            |                                                                                                          |
| シリコン事業         | <ul style="list-style-type: none"><li>● シリコンの生産開始</li></ul>                         | <ul style="list-style-type: none"><li>● 海外への展開(米、韓、台、蘭)</li></ul>                                                                                                  | <ul style="list-style-type: none"><li>● 松井田工場(群馬県)モノマーの生産能力を増強</li></ul>                                             | <ul style="list-style-type: none"><li>● タイにモノマーおよびポリマーの工場を建設</li></ul>                                                                                     | <ul style="list-style-type: none"><li>● 中国(南通)にポリマー工場を建設</li></ul>                                                                                                         | <ul style="list-style-type: none"><li>● 日本とタイでモノマーの生産能力を増強</li></ul>                                     |
| 電子・機能材料事業      | <ul style="list-style-type: none"><li>● 武生工場にて高純度レア・アースの生産開始</li></ul>              | <ul style="list-style-type: none"><li>● レア・アースマグネットの生産開始</li><li>● エポキシモールドディングコンパウンド(EMC)の生産開始</li><li>● ICマスク用合成石英基板の生産開始</li><li>● 光ファイバー用プリフォームの生産開始</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>● フォトレジストを事業化</li><li>● ペリクル、液状フッ素エラストマーを開発</li><li>● マレーシアでEMCの生産開始</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>● 鹿島工場にプリフォームの生産工場を建設、量産開始</li><li>● フォトマスクブランクスを開発</li><li>● 高輝度LED材料を開発</li><li>● レア・アースマグネット「粒界拡散合金法」開発</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>● ベトナムにレア・アースの精製、マグネットの生産工場を建設</li><li>● 台湾にフォトレジストの工場を建設</li><li>● 中国(江陰/浙江)にプリフォーム生産工場を建設</li><li>● フォトマスクブランクの工場を福井県に新設</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>● 日本と台湾でフォトレジストの生産能力を増強</li><li>● 熱硬化性低誘電樹脂(5G関連製品)の工場建設</li></ul> |
| 機能性化学品事業       | <ul style="list-style-type: none"><li>● 塩酢樹脂、酢ビ、ポパール、セルロースを事業化</li></ul>            | <ul style="list-style-type: none"><li>● 合成香料、合成フェロモンを開発</li></ul>                                                                                                  | <ul style="list-style-type: none"><li>● 豪で金属ケイ素の生産開始(買収)</li></ul>                                                   | <ul style="list-style-type: none"><li>● 独でセルロースの生産開始(買収)</li></ul>                                                                                         | <ul style="list-style-type: none"><li>● 米に塗料用セルロース工場を新設</li><li>● 日、独でセルロースの生産能力を増強</li></ul>                                                                              |                                                                                                          |
| 加工・商事・技術サービス事業 | <ul style="list-style-type: none"><li>● 加工会社信越ポリマーを設立</li><li>● 信越アステック設立</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>● 信越エンジニアリング設立</li></ul>                                                                                                     |                                                                                                                      |                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                            |                                                                                                          |

|       |           |               |               |                    |                      |                     |                |
|-------|-----------|---------------|---------------|--------------------|----------------------|---------------------|----------------|
| 社会の動き | 1950～60年代 | 1970年代        | 1980年代        | 1990年代             | 2000年代               | 2010年代              | 2020年代         |
|       | 高度経済成長    | 二度にわたるオイルショック | プラザ合意<br>平成景気 | バブル崩壊<br>情報通信技術の普及 | ITバブルの崩壊<br>リーマンショック | 東日本大震災の発生<br>SDGs採択 | 新型コロナウイルスの感染拡大 |

社会課題と  
信越化学グループの挑戦

## 信越化学グループの挑戦

「持続性」、「資源効率」、  
「生産性の向上」、  
「スマートインフラ」、  
「健康増進」に  
貢献する製品、  
技術の提供による  
新たな社会価値の創出

## 社会課題

- DX  
デジタルトランスフォーメーション
- 気候変動対策  
脱炭素化  
カーボンニュートラル
- 資源の有効活用  
持続可能な調達
- 健康  
安全・安心



## 信越化学グループの「今」

信越化学グループは素材と技術によって、他が追従できない価値の創造を進めています。そのために製造、開発、営業が一体となって市場ニーズや社会課題の解決に資する製品の開発を推進し、世界最高水準の技術や品質の追求と絶え間ない生産性の向上を図っています。同時に、経済情勢や経営環境の変化に迅速な対応を進め、世界中の顧客への安定的な製品供給を実現しています。

### 経営資源

 従業員数  
**24,069人**

 拠点数  
国内生産拠点  
**16社 27拠点**  
海外生産・販売拠点  
**19カ国 93拠点**

 研究所  
**12拠点**

 自己資本比率  
**83.2%**

 取引先  
信頼関係と  
強固な  
パートナーシップ

 設備投資額  
**2,288億円**

### 三位一体のモノづくり



### ものづくりの基盤の強化



### 持続可能な 社会に向けて

接続性

資源効率

生産性の向上

スマートインフラ

健康増進

### 成果・創出価値

| 財務成果     | 2010年度   | 2020年度   |
|----------|----------|----------|
| 売上高      | 10,583億円 | 14,969億円 |
| 営業利益     | 1,492億円  | 3,922億円  |
| 税引後純利益   | 1,001億円  | 2,937億円  |
| ROIC     | 9.7%     | 17.2%    |
| ROE      | 7.0%     | 10.7%    |
| 1株当たり配当金 | 100円     | 250円     |

| 時価総額 | 2011年3月末 | 2021年3月末 |
|------|----------|----------|
|      | 17,868億円 | 77,541億円 |

 格付け ムーディーズ(長期) **Aa3**

 特許件数  
特許取得件数 **1,842件**  
特許保有件数 **21,222件**

 市場シェア  
塩化ビニル樹脂／半導体シリコン／フェロモン製剤 **世界 1位**  
セルロース **国内 1位、世界 2位**  
シリコン **国内 1位、世界 4位**

 売上高に占める環境製品\*比率 **14.2%**

 温室効果ガス排出量原単位  
(1990年度比) **46.4%削減**

 海外売上高比率 **74.0%**

2021年3月31日現在  
※持続可能な開発目標(SDGs)の目標7「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」と目標13「気候変動に具体的な対策を」の達成につながる製品



## 世界で旺盛な 住宅・インフラ需要に対応

# 塩ビ

### 社会課題の解決に 貢献する素材として

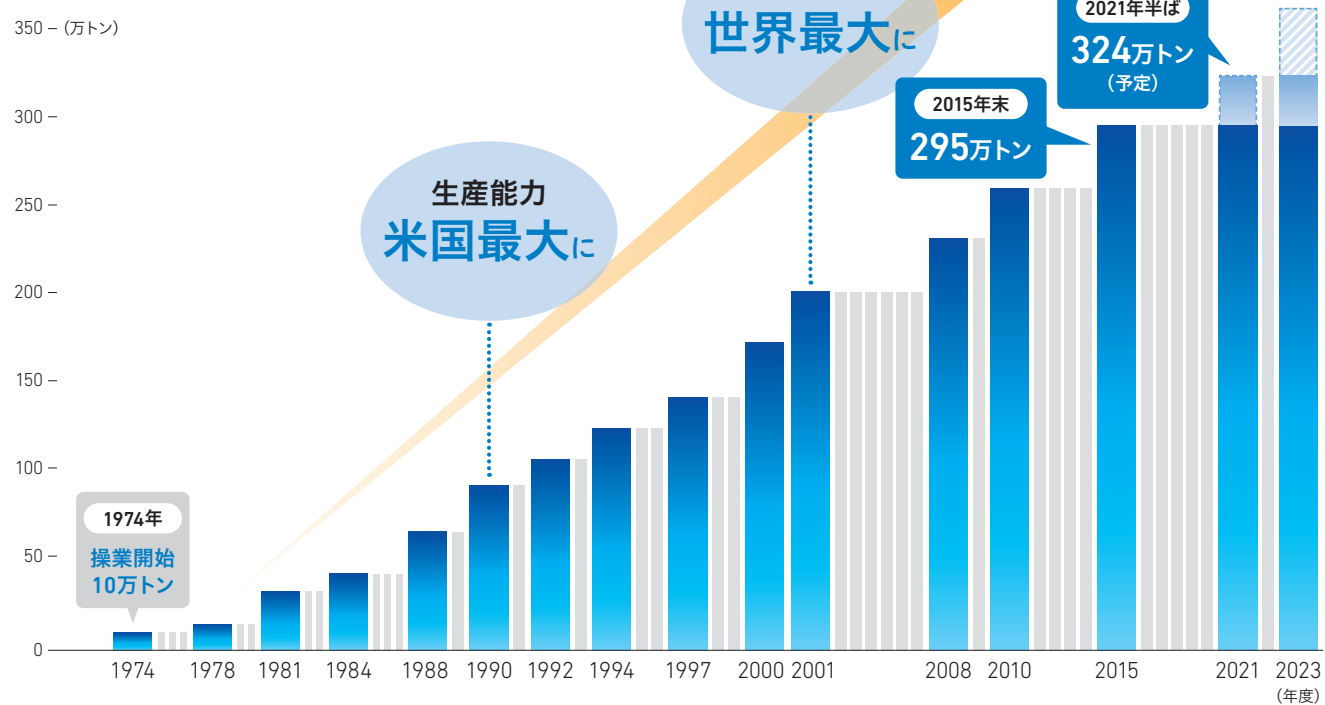
塩ビは上下水道などのインフラ（社会基盤）、住宅、農業、生活用品など、私たちの生活に欠かせない分野に多く利用されています。昨今の新型コロナウイルス感染症への対策にも塩ビ製の板やフィルムが、飛沫感染防止用の間仕切りやフェイスガード、医療用手袋など随所で利用されています。また、塩ビは石油資源への依存度の小さい樹脂であり、早くからリサイクルへの取り組みが進むなど、資源の有効利用や脱炭素化にも貢献しています。

全世界における塩ビの年間使用量はここ10年で年率平均約3%伸びており、2018年には、4,500万トンを超えました。当社グループのシンテック社（米国）では北米や新興国等を中心とした旺盛な需要に対応して、生産能力の増強を継続的に推進しています。

### 生産能力の増強

シンテック社は1974年の操業開始以来、継続的に生産設備の増設を進めるとともに、高稼働の生産体制を実現することで、現在では世界最大の塩ビメーカーとして世界中の塩ビ需要に対応しています。2021年半ばの能力増強後も次なる増設を進め、2023年には年間生産能力が362万トン（2020年比約2割増）になる計画です。

#### シンテック社の塩ビ生産能力推移



約35倍

#### 製品を通じた社会課題解決

### CO<sub>2</sub>排出量の抑制と塩ビ

地球規模で喫緊の課題となっている気候変動対応では、素材の生産から廃棄までのライフサイクルにおけるCO<sub>2</sub>の排出量抑制が重要です。塩ビは以下の観点からCO<sub>2</sub>の排出量抑制に貢献する素材といえます。

#### 1 製造する際の温暖化ガス排出抑制

- 塩ビは原料の約6割が塩で、他のプラスチックに比べ石油資源への依存度が低く、製造時におけるCO<sub>2</sub>排出量が少ない。
- 鉄やガラス等の他の素材による同一用途の製品（例：鉄製のパイプや、ガラス製の農業ハウス）と比較して、塩ビは製品製造時の必要エネルギーが少ない。

#### 2 地球温暖化防止への貢献

- |            |                                                                                 |
|------------|---------------------------------------------------------------------------------|
| <b>長寿命</b> | 塩ビの主な用途はパイプや建材で、ほかのプラスチック製品に比べ耐用年数が長く（塩ビ製パイプは50年以上の耐用評価）、資源節約に貢献。               |
| <b>断熱性</b> | 塩ビ製窓枠（樹脂窓）は、断熱性に優れるため省エネに役立ち、CO <sub>2</sub> 排出の抑制に貢献。（例：アルミ製単板ガラスに比べ断熱性が62%向上） |

#### 3 廃棄・再生する際の温暖化ガス排出の抑制

- 塩ビのマテリアルリサイクル比率は約33%と他のプラスチックに比べ高い。

参考：塩ビ工業・環境協会（VEC）ホームページ

### シンテック社のエチレン工場が稼働

#### ～安定生産体制の強化～

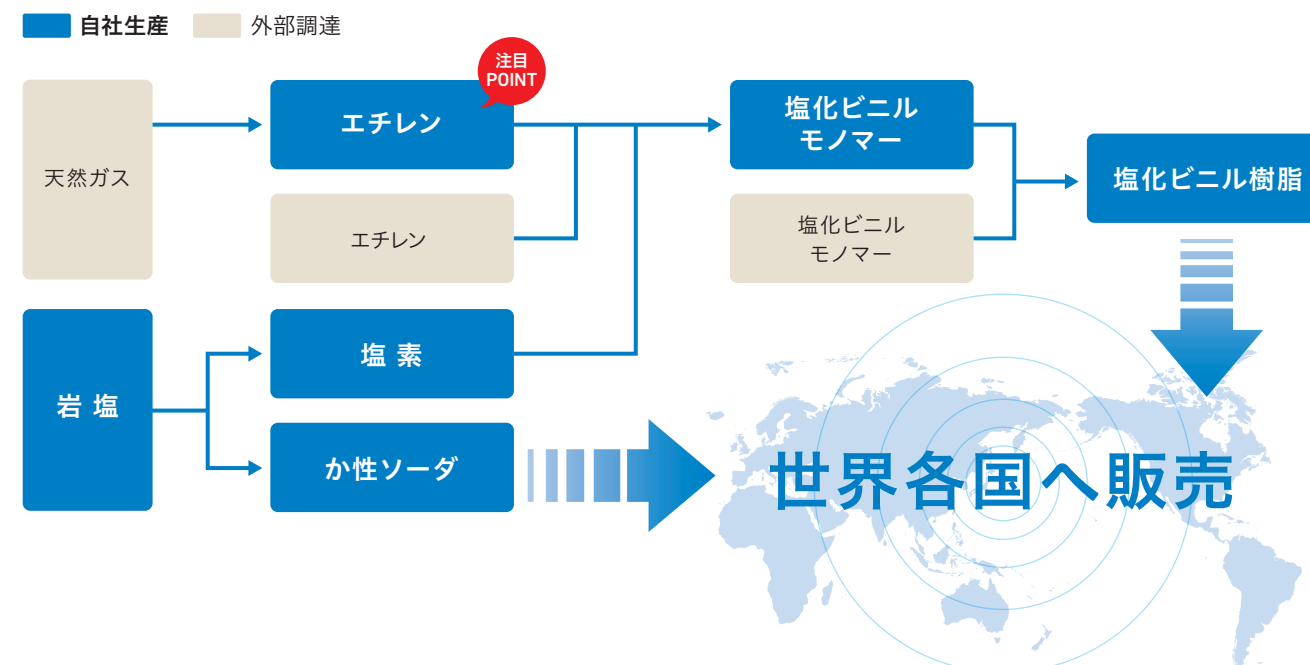
2020年、塩ビの主原料の一つであるエチレンの生産を開始し、これまで外部から調達していたエチレンの約半分が自社内生産となりました。今後も需要の伸びが見込まれる塩ビの生産を安定的に継続するため、原料供給の安定化にも努めています。



注目  
POINT

2020年に稼働を開始したエチレン工場

#### 原料からの一貫生産体制を構築（シンテック社）





## 半導体製造に欠かせない 多彩な素材と製品を提供

持続可能な社会の実現には、デジタル化を通じてあらゆる産業分野における生産性の向上や効率化を図り、生活環境や利便性の向上を進めていくことが不可欠です。同時に、エネルギーの効率的な利用、温室効果ガスの排出量抑制など経済や社会のグリーン化も急務です。

この「デジタル化」と「グリーン化」の両立を根幹で支えているのが半導体です。

信越化学グループでは、その基幹材料であるシリコンウエハーをはじめ、半導体製造に欠かせないフォトレジスト、フォトマスクブランクス、封止材料など、多岐にわたる素材や製品を送り出しています。

※下図（半導体の製造工程全般に関わる信越化学グループの製品）をご参照ください。

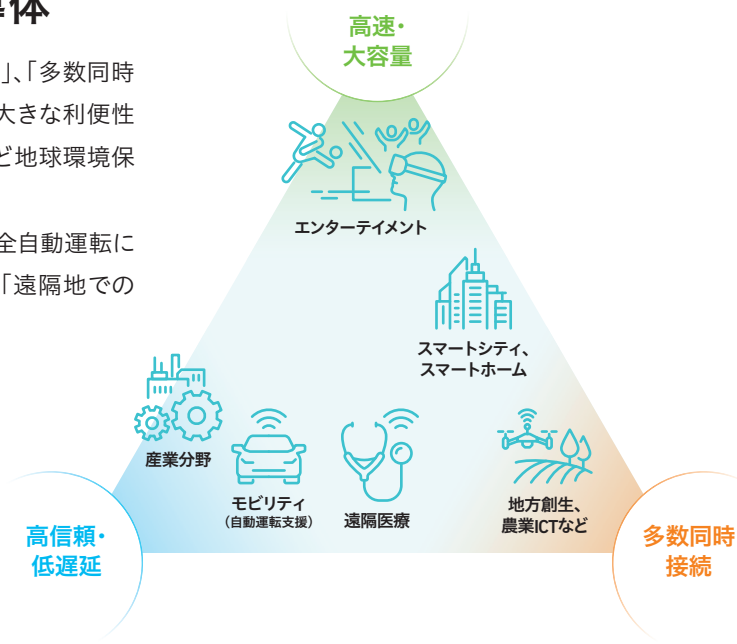
## 製品を通じた社会課題解決

## 5Gの発展を支える半導体

5Gは、「高速・大容量」、「高信頼・低遅延」、「多数同時接続」通信を可能にし、生活やビジネスに大きな利便性をもたらすだけでなく、省エネルギー化など地球環境保全の観点からも活用が期待されています。

「場所を選ばない働き方への対応」、「完全自動運転による人手不足の解消・交通事故の減少」、「遠隔地での医療対応」など産業や暮らしの中で「できること」が広がります。この実現には、5G対応の通信機器やインフラの整備が必要で、そこには高性能、省電力や、コスト面で優れた半導体が多く使われます。

信越化学グループは日々進化する半導体を素材と技術で支えています。



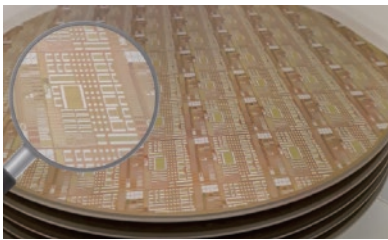
## 半導体の製造工程全般に関わる信越化学グループの製品



## 新たな 素材・技術への 取り組み

### 窒化ガリウム(GaN)

GaNを用いた半導体は、電気自動車などのモビリティの進化や5Gなどで求められる、高デバイス特性と省エネルギーという相反する課題を解決できるデバイスとして、需要拡大が期待されています。大口径GaN関連製品の供給も図っていきます。



### 石英ガラスクロス

超高速通信を支える配線基板のコア材に最適な石英ガラスクロスを開発。極細の石英ガラスの糸を素材とし、積層基板の薄膜化が可能なか、α線の発生が極めて少なく放射線によるデバイスの誤動作防止にも有効です。5G対応無線機器のカバー等の繊維強化プラスチック部材としても期待されます。



### 熱硬化性の低誘電樹脂(SLKシリーズ)

低誘電特性を持つ高強度かつ低弾性の樹脂で、5Gの高周波数帯(10～80GHz)での誘電率や誘電正接は、熱硬化性樹脂として最低レベルを達成。FCCL(フレキシブル銅張積層板)や接着剤などへの使用にも適しています。





## サステナビリティへの多面的な取り組み

信越化学グループは、持続可能な社会の実現と企業の持続的な成長の両立を目指しています。  
そのため企業規範<sup>\*</sup>の実践を通じて社会の課題解決に貢献する取り組みを推進しています。  
同時に、人材、環境、ガバナンスに重点を置いて中長期的な価値創出につながるESG体制の強化を多面的に進めています。

※ 企業規範(巻頭ページ)参照

### ESGの推進

当社グループでは、企業規範を実践し、株主、投資家、顧客、取引先、地域社会、従業員というあらゆるステークホルダーの皆さまに貢献することを、企業の社会的責任と捉えています。ESGに関する課題への取り組みは、持続的な成長によってこの社会的責任を果たしていく上で不可欠なものであると認識しています。このため、ESGの基本方針および各種社内規程を定め、これに基づいて企業活動を進めています。

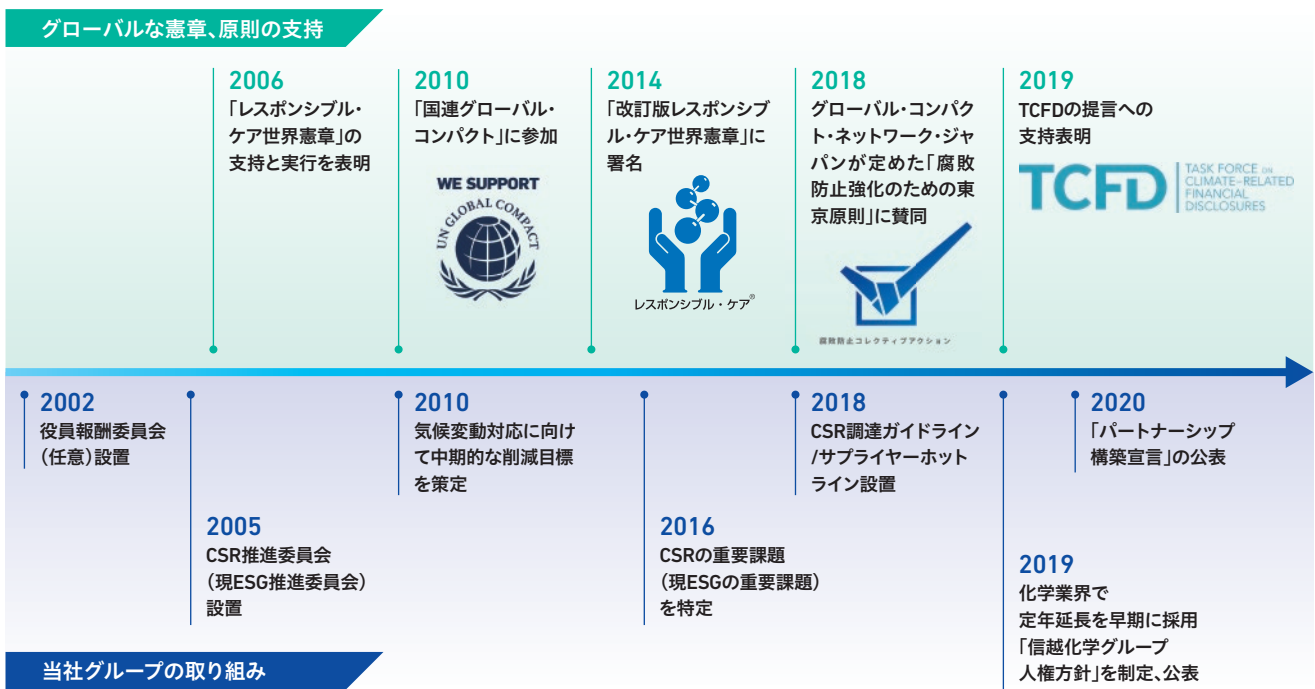
また、グループ全体でESGを推進していくため、当社社長をトップとするESG推進委員会を組織しています。同委員会には、当社取締役や部門長、グループ各社のESG担当者など約50名が参加し、あらゆる企業活動をESGの視点で検証し、取り組みの指針などを策定しています。

### ESGの基本方針

当社グループは、

1. 持続的な成長により企業価値を高め、多面的な社会貢献を行います。
2. 安全を常に最優先とする企業活動を行います。
3. 省エネルギー、省資源、環境負荷低減に絶えず取り組み、地球環境との調和を図ります。
4. 最先端の技術と製品を通じ、地球温暖化の防止と生物多様性の保全に取り組みます。
5. 人権の尊重と雇用における機会の均等を図り、働く人の自己実現を支援していきます。
6. 適時そして的確な情報開示を行います。
7. 倫理に基づいた健全で信頼される、透明性ある企業活動を行います。

### ESG活動強化の歩み



### 2020年度の取り組み

ESG推進委員会では、2020年度の当社グループが取り組むべき課題として下記の3点を取り上げ、ESG活動を強化しました。

#### 3つの課題

- 1 「持続可能な開発目標(SDGs)」と経営の統合
- 2 人権デューデリジェンス<sup>※1</sup>
- 3 TCFD(Task Force on Climate-related Financial Disclosures)<sup>※2</sup>への対応

※1 企業が①人権方針の策定と開示 ②自社の企業活動が人権に与える影響の評価 ③負の影響の防止と是正 ④パフォーマンスの追跡と開示、といったPDCAサイクルを繰り返すことで、社内外の人権に関連する悪影響を認識、防止し、対処すること

※2 G20の要請により2015年12月に金融安定理事会が設立した、気候変動に関連する財務情報開示の特別チーム

### 1 SDGsと経営の統合

企業規範にのっとり当社グループが提供している多様な製品は、国連が掲げるSDGsの達成にも貢献しています。2020年度の経営目標では、2019年度に引き続き「SDGsに貢献する」を掲げ、SDGsの社内浸透を推進しました。

2020年度の信越化学の投資案件の98.6%がSDGsに貢献する内容であり、省エネルギーやCO<sub>2</sub>削減への投資も48億円に達し、温室効果ガス15,665CO<sub>2</sub>-トン削減の効果を上げています。

### 2 人権デューデリジェンス

当社グループは、常に人権を尊重することを礎として事業に取り組んでいます。2019年5月には、その人権尊重の取り組みをとりまとめ、全社的な活動の推進と社外への発信をさらに強化するため「信越化学グループ人権方針」を制定しました。

また、世界人権宣言、ILO<sup>※</sup>国際労働基準、国連「ビジネスと人権に関する指導原則」など国際的な行動規範を遵守し、「差別の禁止」「尊厳を傷つける行為の禁止」「プライバシーの保護」「労働基本権の尊重」「児童労働・強制労働の禁止」などの人権尊重に向けた活動を徹底しています。また、人権デューデリジェンスの一環として、2019年12月から国内外グループ会社を対象に人権リスク調査を実施、2020年度はフォローアップを実施しました。今後、この調査結果から当社グループの人権リスクを特定し、当社グループにおける顕著な人権課題に対処していきます。

※ ILO(International Labour Organization):国際労働機関

### 3 TCFDへの対応

2017年2月にTCFDより「企業は、中長期の複数の気候変動の予測と将来シナリオを元に、自社のリスクと機会を分析し、財務への影響度を開示すべき」との提言が行われました。当社グループは、2019年5月にこの提言の支持を表明し、経済産業省、金融庁、環境省などにより設立された「TCFDコンソーシアム」に参加しました。2020年度は、気候変動が当社に与えるリスクと機会の特定と分析を行いました。引き続き、気候変動シナリオ分析を実施するなど、同提言に沿って気候変動に関する情報開示の強化を図っていきます。

サステナビリティへの多面的な取り組み

重要課題(マテリアリティ)の特定

当社グループでは、2005年にCSR推進委員会を設置。同委員会では、ISO26000の中核主題やステークホルダーの要請などを精査して当社グループにおける「CSRの重要課題」の特定に取り組みました。2015年には同委員会において重要課題案を取りまとめ、当社の全役員による業務執行の決定機関である常務委員会の決定を経て、正式に「重要課題」を特定しました(下図参照)。

CSR推進委員会を発展させたESG推進委員会では、これらの重要課題について改めて検討を行い、2018年12月にその全ての課題を「ESGの重要課題」として継承することとしました。

当社では、全ての活動の礎である「法令遵守、公正な企業活動」をはじめとした9つの重要課題を特に注力すべき取り組みとしています。

重要課題

当社グループでは、重要課題への取り組みを通じて、既存事業の強化や新規事業の創出を進め、SDGsに貢献しています。

E (Environment:環境) S (Social:社会)



働く人の安全の確保と健康の促進



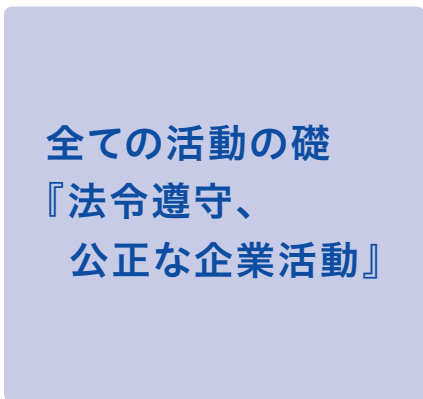
省エネルギー、省資源、  
環境負荷の低減



製品の品質の向上、  
製品の安全管理



CSR調達の推進、  
原料調達の多様化



人間尊重、人材育成、  
多様性の促進



知的財産の尊重と保護



社会貢献活動



適時、的確な情報開示、  
ステークホルダーとの対話

重要課題のリスクと機会

| 重要課題                        | リスクと機会(代表例)                                                                                      | 課題に対する取り組み                                                                                                                        |
|-----------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 全ての活動の礎<br>法令遵守、公正な企業活動     | <div>リスク</div> 法令違反や不正の発生、社会からの信頼の喪失による企業価値の毀損 など                                                | <div>● 研修などを通じたコンプライアンス意識の向上</div> <div>● 贈収賄防止策の徹底 など</div> <div>⇒ </div>                                                        |
| E<br>省エネルギー、省資源、<br>環境負荷の低減 | <div>リスク</div> 温室効果ガスに関する規制の強化、原料の価格上昇や調達困難 など                                                   | <div>● 環境負荷低減の促進、気候変動への対応</div> <div>● 水資源の保全</div> <div>● 廃棄物削減 など</div> <div>⇒ P18「環境」ページへ</div>                                |
| S                           | <div>働く人の安全の確保と健康の促進</div> <div>リスク</div> 事故、環境問題が地域社会と従業員に与える影響や自然災害による設備の損害、感染症の流行に伴う操業への影響 など | <div>● 安全教育の実施</div> <div>● 環境保安監査の実施</div> <div>● 職場環境の改善 など</div> <div>⇒ P16「人材」ページへ</div>                                      |
|                             | <div>製品の品質の向上、製品の安全管理</div> <div>リスク</div> 製品の品質・安全性の問題による信頼喪失 など                                | <div>● 品質管理</div> <div>● 品質監査、支援</div> <div>● 製品の安全管理 など</div> <div>⇒ </div>                                                      |
|                             | <div>CSR調達の推進、原料調達の多様化</div> <div>リスク</div> 原材料の調達困難による製造停止や出荷への影響 など                            | <div>● 「信越化学グループCSR調達ガイドライン」の改訂</div> <div>● 下請法の遵守</div> <div>● 紛争鉱物排除の取り組み など</div> <div>⇒ </div>                               |
|                             | <div>人間尊重、人材育成、多様性の推進</div> <div>リスク</div> 自社の事業活動やサプライチェーンにおける人権侵害の発生 など                        | <div>● 従業員の人権意識の醸成</div> <div>● 多様性の促進</div> <div>● ワークライフバランス制度の充実</div> <div>● 人権デューデリジェンスの実施 など</div> <div>⇒ P16「人材」ページへ</div> |
|                             | <div>知的財産の尊重と保護</div> <div>リスク</div> 知的財産の侵害による製品販売の停滞 など                                        | <div>● 知的財産、情報資産の適切な管理</div> <div>● サイバーセキュリティの強化 など</div> <div>⇒ </div>                                                          |
|                             | <div>社会貢献活動</div> <div>リスク</div> 企業活動の内容が社会のニーズと合致しないことによる信頼の喪失 など                               | <div>● 募金活動</div> <div>● 地域貢献活動 など</div> <div>⇒ </div>                                                                            |
|                             | <div>適時、的確な情報開示、ステークホルダーとの対話</div> <div>リスク</div> 情報の非開示や不十分な開示による企業価値の毀損、ステークホルダーからの信用の喪失 など    | <div>● 適時、的確な会社情報の開示</div> <div>● ステークホルダーとの対話の推進 など</div> <div>⇒ </div>                                                          |
|                             | <div>適時、的確な情報開示、ステークホルダーとの対話</div> <div>機会</div> 適正な市場評価の形成、企業価値向上、ステークホルダーと社会からの信頼の獲得 など        |                                                                                                                                   |

:より詳細な取り組みはサステナビリティサイトをご覧ください  
<https://www.shinetsu.co.jp/jp/sustainability/>



## サステナビリティへの多面的な取り組み

### 人材

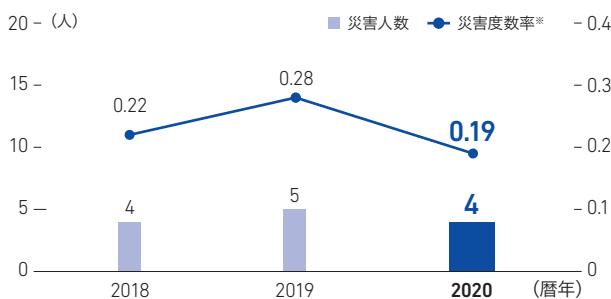
信越化学グループは全ての企業活動の礎は人材であると考えています。このため、ESGの基本方針においても「安全の最優先」「人権の尊重」「雇用の機会均等」「働く人の自己実現の支援」を明確に掲げています。さらに2021年度には、経営目標として「働きがいのある職場の増進」を明示し、安心して働き続けられる環境の整備、人材育成や多様性の確保に向けた取り組みに力を注いでいます。

#### 重要課題：働く人の安全の確保と健康の促進

##### 安全・安心な職場づくり

当社グループでは、「重大な事故は絶対に発生させない」「休業災害ゼロ」を目標に、リスクアセスメントを通じて負傷または疾病につながるリスクを徹底的に洗い出し、リスクを排除し低減することで、安全で快適な職場づくりに取り組んでいます。

##### 休業災害人数と度数率の推移（信越化学および国内連結会社）



##### 安全教育受講者数

| 対象範囲 | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 |
|------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 信越化学 | 7,970  | 9,751  | 11,774 | 19,411 | 32,527 |
| 連結   | 22,166 | 24,829 | 28,013 | 39,328 | 46,998 |

##### 未然事故防止への取り組み

当社グループでは、毎年春と秋の2回、各製造事業所で環境保安監査を実施しています。2020年度は工場の操業にかかる重大リスクの対策の検討結果と、保安力評価による自己評価結果、および評価結果の改善に向けた自主活動の実施状況と今後の活動計画などを重点に監査し、災害の未然防止とともに安定操業につなげています。

また、各事業所のボトムアップ活動として、長年「ヒヤリハット※1・気がかり提案」活動を続けており、2020年度は信越化学4工場において、職場で気づいた身近なヒヤリ事象の提案※2が7,131件ありました。この活動は、最も多くの安全改善に結び付けることができています。

※1 作業者が職場や身の回りで体験したヒヤリあるいはハッとした事例。  
 ※2 提案事例の一部は、ホームページに掲載しており、定期的に更新しています。

##### 従業員の心身の健康

###### メンタルヘルス研修

従業員がいきいきと働けるよう、メンタルヘルス研修を行っています。また、長時間労働者に対してはメンタル相談や個別健康指導もを行っています。



リモートによる健康指導  
（2020年10月）

###### 新型コロナウイルス感染対策

出社時の検温、通勤および勤務中のマスク着用、手指の消毒、出張の禁止、電話会議やWeb会議の活用、来訪者の検温などを徹底しています。本社と支店では出勤率を下げ、在宅勤務を推進しています。



コロナ感染対策を講じた通勤（フィリピン）  
（2020年12月）

#### 重要課題：人間尊重、人材育成、多様性の推進

当社グループは、信越化学の機関決定を経て2019年5月に「信越化学グループ人権方針」を制定し、同年12月から国連の「ビジネスと人権に関する指導原則」に沿った人権リスクの調査を行いました。この結果を元に人権課題を特定し対処していきます。

また、従業員の一人一人が健康で自己実現やキャリア形成を可能にする、働きやすい職場づくり、人材育成に取り組んでいます。外部変化やグローバルな事業展開に対応すべく、海外での現地採用に加え、国内における外国人の採用にも取り組んでいます。2016年度から女性の活躍推進の目標を掲げるなど、ダイバーシティを推進しています。

当社は化学業界では比較的早く、2019年4月から従業員の定年を60歳から65歳に引き上げ、60歳以降も昇給や昇格が可能な制度を導入しました。

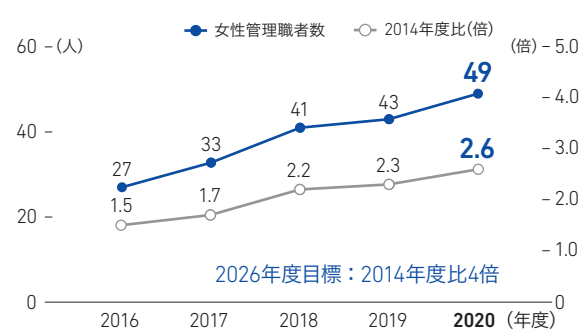
##### 女性の活躍推進のための目標※

2021年度からの5年間で

1. 採用時の女性比率を事務系40%、技術系10%とする。
2. 係長を含む女性の管理職者の数を2014年度比で4倍にする。

※ 対象は、信越化学の従業員と出向者。

##### 女性管理職者数の推移※



※ 対象は、信越化学の従業員と出向者。

##### ワークライフバランス

###### 育児支援制度

育児休業制度は子どもが満3歳になるまで取得可能です。また、短時間勤務制度は、子どもが小学校を卒業するまで利用することができます。さらに、在宅勤務制度の活用も推進しています。

2020年度の育児休業制度利用者数は女性66名、男性84名でした。

###### 介護支援制度

当社グループでは介護をしながら働く従業員のために介護支援制度を設け、介護をしながら仕事を続けていくことができる環境を作っています。さらに、2014年度より「健康管理・介護サポート」サービスの提供を始め、社外の専門家による相談窓口を設置しました。

2020年度の介護休業取得者数は2名でした。

##### 人材開発

当社では、さまざまな環境の変化に対応できる柔軟な発想力と変化を恐れず挑戦する自発性を有する人材を求めています。キャリアプランニングは、「環境が人を育てる」とも言いますが、日常業務を通してのOJT(On the Job Training)を重視しています。体系だった研修も大切ですが、本質的な成長は日常の経験の積み重ねの中にあると考えています。

若手社員にも、海外業務や大きなプロジェクト業務を一員として担わせることもその一環です。一段上の質の高い仕事にチャレンジすること、経験豊富な先輩や上司と共に仕事をし、また達成感を共有することで、能力開発・人材育成を進め、次への挑戦意欲を醸成しています。社員の成長が会社の成長につながるとの考え方の下、画一的ではなく、一人一人にあった育成を進めています。



エチレン工場の職場メンバー（シンテック社）

サステナビリティへの多面的な取り組み



当社グループでは、製品の製造時だけではなく使用から廃棄に至る全ての過程で、地球環境への負荷を減らすことが重要であると認識しています。このため、生産過程などで地球環境への負荷の削減を徹底するだけでなく、製品の使用が環境負荷の低減につながる製品の開発に努めています。

気候変動への対応

当社グループは、世界が目指す「2050年カーボンニュートラル」に向け、事業活動を通じて温室効果ガスの排出削減に取り組んでいます。

信越化学グループの製品の特長

|   |                   |   |                  |
|---|-------------------|---|------------------|
| 1 | 石油への依存度が低い        | 3 | 温室効果ガス排出量の削減に貢献  |
| 2 | 製造工程における省エネルギーの徹底 | 4 | 低炭素製品、リサイクルの進む製品 |

気候変動への対応の体制

社長が委員長を務めるESG推進委員会を中心に気候変動対策に取り組んでいます。2020年度は、気候変動に関する分科会を12回開催。業務執行の検討と決議を行う常務委員会に今後の気候変動への対応を提案し、討議を経て承認されました。

気候変動への対応の戦略

|                                                  |                                                                                                                                                  |
|--------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 当社グループは、環境負荷の抑制と人間社会の持続的発展を目指し、次のような取り組みを進めています。 | 1) 徹底した生産の効率化による、温室効果ガス排出量の削減<br>2) 環境貢献製品の開発、製造、供給によるお客さまや社会の効率化への貢献<br>3) 再生可能エネルギーの導入<br>4) 物流における温室効果ガス排出量の削減<br>5) 温室効果ガス排出量を削減するための対策とその実行 |
|--------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

気候変動が事業活動に与えるリスクと機会

信越化学の取締役や部門長で構成されるリスクマネジメント委員会が気候変動によるリスクも含め、事業を取り巻くさまざまなリスクに備え、リスクの排除に取り組んでいます。2020年度には当社事業についてシナリオ分析を行い、気候変動が事業活動に与えるリスクと機会を特定しました。今後、さらに対象とする事業を広げて分析を続けます。

気候変動による事業機会：2℃シナリオ

| 用途                  | 詳細                                                                                                                       | 影響度 |
|---------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|
| 樹脂窓                 | ●省エネ住宅の普及とともに断熱性に優れた塩化ビニル樹脂製の窓枠（樹脂窓）の需要増。                                                                                | 大   |
| 電気自動車、ハイブリッド車、燃料電池車 | ●インバーター制御などのパワー半導体デバイス、自動運転、AI向けの半導体シリコンの需要増。<br>●車体の軽量化で燃費向上に役立つ高性能で小型のレア・アースマグネットの利用増。<br>⇒ P19「環境対応車を支える信越化学グループの製品」へ | 大   |
| 風力発電機               | ●発電機の高効率化およびメンテナンスコストの削減に寄与するレア・アースマグネットの需要増。                                                                            | 大   |
| エアコン                | ●コンプレッサーモーターのインバーター制御デバイスに使用され、省電力に貢献する半導体シリコンの需要拡大。<br>●コンプレッサーモーターのエネルギー効率を高め消費電力量を削減するレア・アースマグネットの需要拡大。               | 中   |
| 航空機                 | ●電動化やハイブリッド化に不可欠な小型で強力なレア・アースマグネットの需要拡大。機体の軽量化、燃費向上に貢献。                                                                  | 中   |
| 産業用モーター             | ●産業用モーターの効率を上げ、消費電力量を削減するレア・アースマグネットの需要拡大。                                                                               | 中   |
| サービスロボット            | ●省エネ対応ロボット制御モーター用半導体や、医療用、災害対策用ロボットへの採用が広がる半導体シリコンの需要増。                                                                  | 中   |

気候変動による事業リスクと対応策：2℃シナリオ

| 事象                    | 当社へのリスク                              | 影響度 | 対応策                                                                                                                                   |
|-----------------------|--------------------------------------|-----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 規制強化による電力価格の上昇        | ●電力コストの増大                            | 大   | ●スコープ2※排出量の削減（電力使用量が少ない生産工程や高効率な機器の導入など）                                                                                              |
| 世界各国での炭素税の導入、炭素排出枠の設定 | ●炭素税の支払い<br>●炭素排出枠の達成のための排出権の購入費用の発生 | 中   | ●スコープ1※排出量の削減（生産工程の効率化、CO <sub>2</sub> を排出しないエネルギーの使用など）<br>●水素還元鉄の材料への利用<br>●温室効果ガスの絶対量での削減目標の設定、達成<br>●各国の炭素税等の環境規制に関する情報を収集し、対策を施す |
| 異常気象の発生（台風、河川の氾濫など）   | ●生産拠点の浸水<br>●サプライチェーンの寸断             | 小   | ●生産拠点の嵩上げや重要な設備の周辺への防水壁の設置<br>●生産拠点の複数化<br>●原材料の調達先の多様化<br>●製品在庫の確保<br>●損害保険への加入                                                      |

※ スコープ1：自社が所有、支配する施設からの直接排出（例：重油や天然ガスなどの燃焼時の排出）  
スコープ2：自社が購入したエネルギーの製造時の排出（例：購買電力の発電時などの排出量）

気候変動による事業リスクと対応策：4℃シナリオ

| 事象                                                | 当社へのリスク                                               | 影響度 | 対応策                                                                                       |
|---------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------|
| 異常気象の発生頻度の上昇<br>-----<br>降水パターンの変化などによる洪水の発生頻度の上昇 | ●生産拠点の浸水<br>●サプライチェーンの寸断                              | 大   | ●生産拠点の嵩上げや重要な設備の周辺への防水壁の設置<br>●生産拠点の複数化<br>●原材料の調達先の多様化<br>●製品在庫の確保<br>●損害保険への加入          |
| 一部の国での炭素税の導入や炭素排出枠の設定                             | ●炭素税の支払い<br>●排出権の購入費用や課徴金の支払いの発生                      | 小   | ●スコープ1排出量の削減<br>●水素還元鉄の材料への利用<br>●温室効果ガスの絶対量での削減目標の設定、達成<br>●各国の炭素税等の環境規制に関する情報を収集し、対策を施す |
| 電力価格                                              | ●IEA※のシナリオ分析（現行施策シナリオ）によると、電力価格は上昇しない。このため、当社へのリスクはない | —   | —                                                                                         |

※IEA(International Energy Agency)：国際エネルギー機関

環境対応車を支える信越化学グループの製品

「小型でも強い磁力」が強みのレア・アースマグネットを活用して自動車などの省燃費化を進めたり、高容量、軽量で長持ちするリチウムイオン電池材料の開発など、モビリティの進化を支えています。

レア・アースマグネット

当社のネオジム磁石※1は、環境対応車であるハイブリッド車（HV車）や電気自動車（EV車）の心臓部ともいえる駆動モーターや発電モーターに使用されています。環境対応車は従来のガソリン車に比べ、排気ガス中の二酸化炭素の量をHV車で約40%、EV車では100%の削減が可能です。当社の試算では、2019年に当社のネオジム磁石が環境対応車に使用されたことで、CO<sub>2</sub>の排出を28万トン削減できました。

これら環境対応車の使用年数を10年と仮定した場合、10年間で約300万トンのCO<sub>2</sub>削減につながります。今後もガソリン車から環境対応車への乗り換えが加速し、2050年にはEV車の世界普及率が100%になると予想※2されています。なお、当社のレア・アースマグネットの製造の主たる拠点である日本（福井県）とベトナムの電力調達先の再生可能エネルギー比率は、それぞれ34%、47%です。

当社は製品の提供を通して環境負荷低減にさらに大きな役割を果たしていきます。

※1 ネオジム磁石：レア・アースマグネットの一種。ネオジムや鉄、ボロンなどを主成分とする極めて磁力の強い磁石。磁力の強さを生かして、モーターなどの小型化、省エネルギーに貢献している。  
※2 出典：IEA「Energy Technology Perspective 2017」

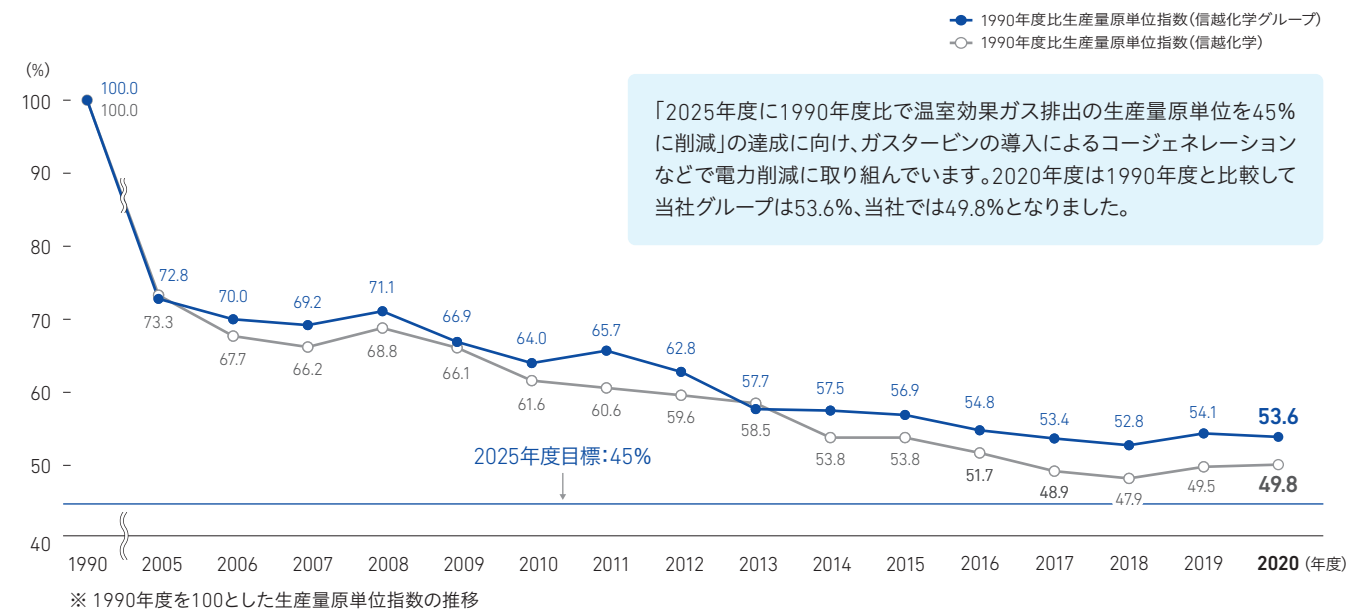




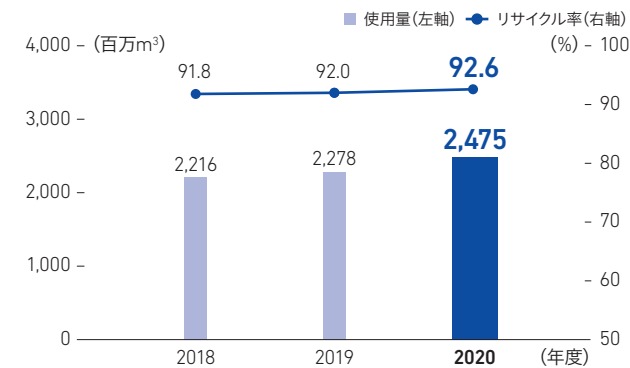
## サステナビリティへの多面的な取り組み

## 省エネルギー、省資源、環境負荷の低減

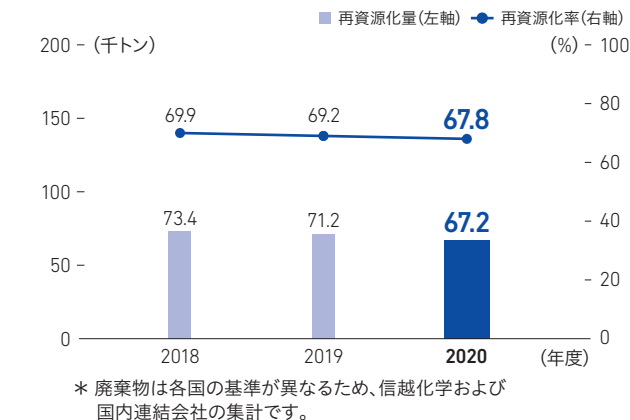
## 温室効果ガス排出量の推移\*



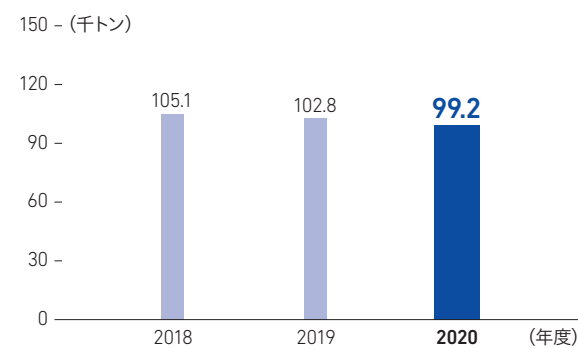
## 水の使用量\*の推移



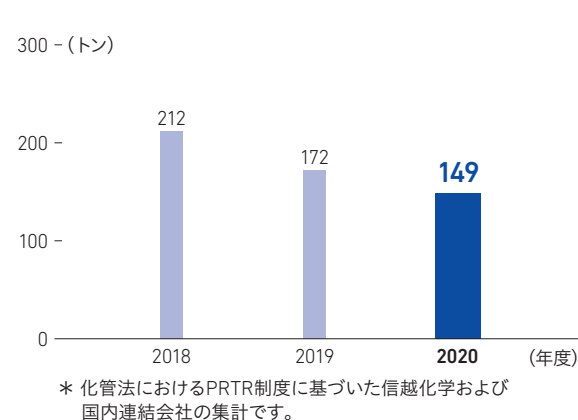
## 廃棄物再資源化の推移



## 廃棄物発生量の推移



## PRTR制度指定物質 総排出量の推移



## ガバナンス

## コーポレートガバナンスの考え方・取り組み

より詳しい情報は、当社ホームページのコーポレートガバナンス情報とコーポレート・ガバナンス報告書をご覧ください。

WEB [https://www.shinetsu.co.jp/jp/sustainability/esg\\_governance/](https://www.shinetsu.co.jp/jp/sustainability/esg_governance/)

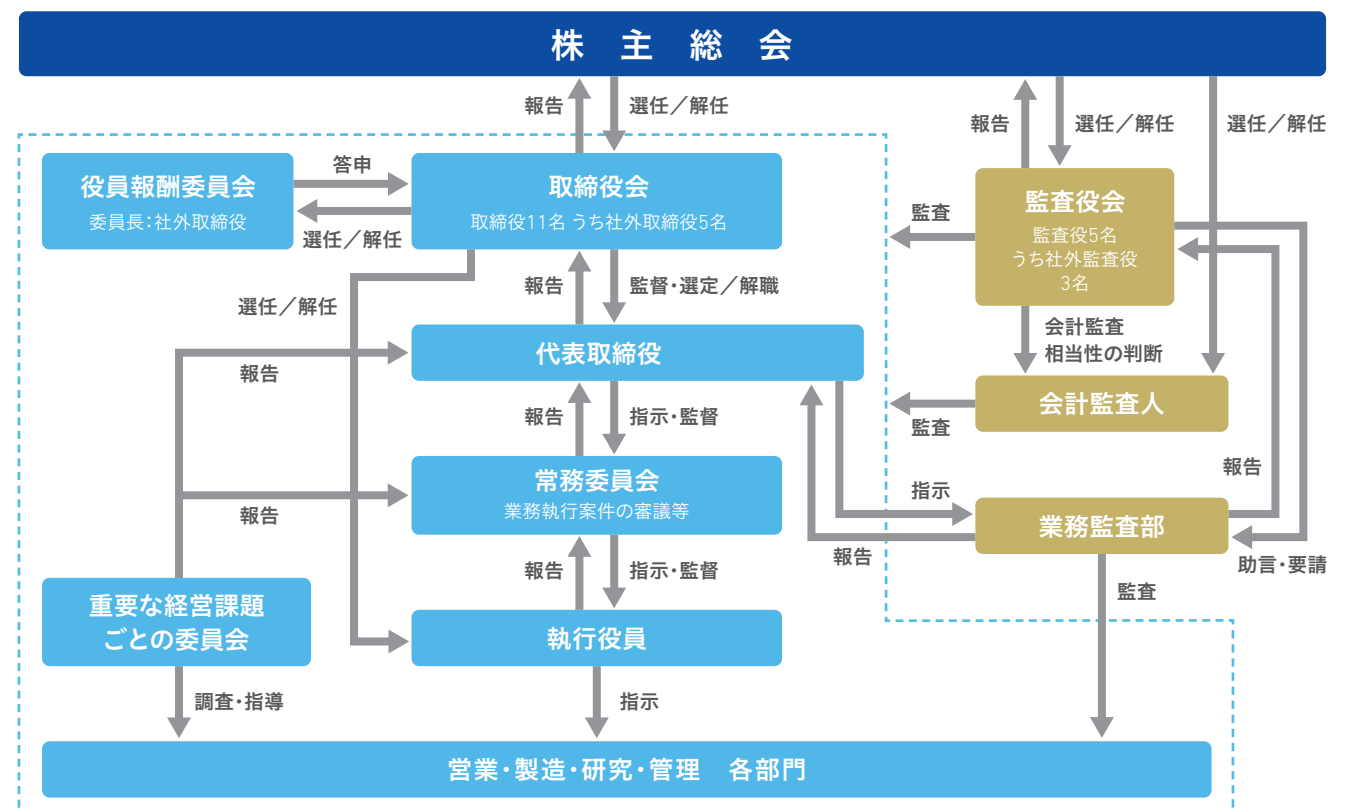
## 基本的な考え方

当社は「企業価値を継続して高め、株主の皆さまのご期待にお応えする」という経営の基本方針を実現するために、事業環境の変化に迅速に対応できる効率的な組織体制や諸制度を整備しています。また、経営における透明性の向上や監視機能の強化という観点から、株主や投資家の皆さまへの的確な情報開示に取り組むことを当社のコーポレートガバナンスの基本として、経営上の最重要課題の一つに位置付けています。

## 企業統治の体制（2021年6月29日現在）

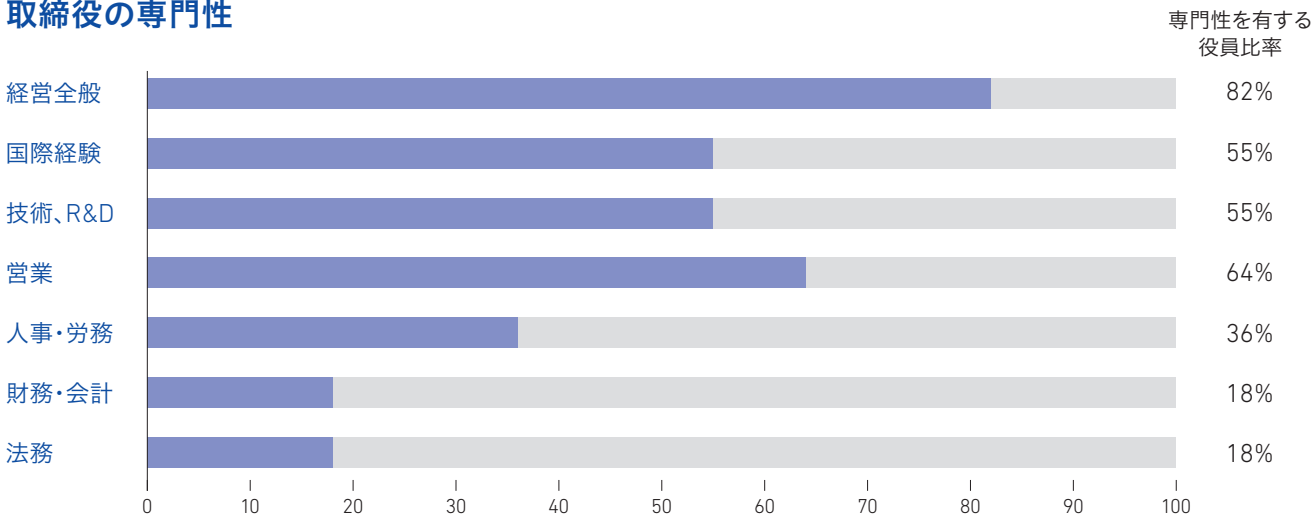
当社では、独立性の高い社外監査役3名を含む合計5名の監査役により監査役会を構成しています。また、監査役による監査を支える人材および体制の充実に努め、監査役と内部監査部門の連携により、監査役による監査機能が十分に果たされる運用に取り組んでいます。さらに、独立性の高い社外取締役5名が監査役や内部監査部門との連携のもと、経営に対する十分な監督を行うことで、監査役の機能を有効に活用しながら経営に対する監督機能を強化する仕組みを構築しています。

このように、望ましいガバナンス体制の確立と株主および投資家の皆さまからのご信認の確保に向けて、監査役設置会社制度を採用しています。また、業務執行の主な審議および決定機関として、法定の取締役会のほかに常務委員会を設置し、それぞれ原則として月1回開催しています。さらに取締役会の諮問機関として社外取締役を委員長とする「役員報酬委員会」を設置し、役員報酬や取締役・監査役候補者の指名などにかかる透明性と妥当性を確保しています。なお、当社は執行役員を設けています。



## サステナビリティへの多面的な取り組み

### 取締役の専門性



### 役員報酬について

当社は、2002年から取締役会の諮問機関として「役員報酬委員会」を設置しています。同委員会は社外取締役フランク・ピーター・ボポフ氏を委員長として、事業年度ごとの業績および経営全般への各取締役の貢献度を総合的に審査し、評価した結果を取締役に答申しています。

#### 報酬額またはその算定方法に係る基本方針

当社の取締役の報酬は、中長期的な企業価値の向上に資する報酬体系とし、役員報酬委員会の審査、評価を踏まえ、その答申に基づき取締役会で決定されます。その内容は、役職、職責等に応じた「固定報酬」と、企業価値向上のためのインセンティブとして年次業績を勘案した「業績連動報酬」のほか、職務遂行および業績向上に対する意欲や士気を高め、株主価値向上に資するインセンティブ(株価連動報酬)としての「ストックオプション」です。

当社の監査役の報酬は、監査役の協議により決定されます。その内容は、監査役としての職責に応じた「固定報酬」です。

経営に対する監督・けん制機能が期待される社外取締役および監査役には、「業績連動報酬」の支給および「ストックオプション」の付与はしていません。

#### 役員区分ごとの報酬等の総額、報酬等の種類別総額、対象となる役員の員数(2021年3月期)

| 役員区分          | 報酬等の種類(百万円) |        |       | 対象となる役員の員数(人) | 報酬等の種類(百万円) |               |
|---------------|-------------|--------|-------|---------------|-------------|---------------|
|               | 固定報酬        | 業績連動報酬 | 計     |               | 非金銭報酬等      | 対象となる役員の員数(人) |
| 取締役(社外取締役を除く) | 1,071       | 565    | 1,637 | 17            | 214         | 16            |
| 監査役(社外監査役を除く) | 36          | －      | 36    | 2             | －           | －             |
| 社外役員          | 165         | －      | 165   | 8             | －           | －             |

(注) 1. 上記には、2020年6月26日開催の第143回定時株主総会終結の時をもって退任した取締役1名を含んでおります。  
2. 当社は、2008年6月27日開催の第131回定時株主総会終結の時をもって役員退職慰労金制度を廃止いたしました。  
3. 非金銭報酬等はストックオプションであり、会計基準に従い、当事業年度において費用計上した金額です。従って、金銭として支給された報酬等ではなく、また、金銭の支給が保証された報酬等でもありません。  
4. 取締役への「固定報酬」、「業績連動報酬」及び「非金銭報酬等」には、使用人兼務取締役に対する使用人分は含まれておりません。なお、使用人兼務取締役に対する使用人給与として重要なものはありません。  
5. 取締役(社外取締役を除く)への「固定報酬」、「業績連動報酬」の計に「非金銭報酬等」を加えた報酬等の総額は1,851百万円です。

### コンプライアンス

#### 内部統制システム

##### 内部統制システムの整備の状況

当社は「取締役の職務の執行が法令および定款に適合することを確保するための体制その他会社および子会社の業務の適正を確保するための体制」(会社法第362条第4項第6号等)を整備するための方針として、「内部統制基本方針」を定めています。同基本方針に従って、内部統制システムを構築、運用するとともに、常時見直しを行い、より適切かつ効率的な内部統制システムの整備に努めています。

##### 監査役監査および内部監査の状況

当社の監査役は、社内重要会議への出席のほか、重要書類の閲覧、事業所および子会社のWeb方式による監査その他の調査などを通じて業務執行に対する監査を行っています。また、監査の実効性を高めるため、四半期毎に会計監査人から会計監査に関する報告、説明を受け、意見交換を行うとともに、随時の情報交換や意見交換を行い、連携を図っております。監査役の業務を補助する者として、業務監査部および法務部の職員が監査役スタッフを兼任しています。

内部監査の組織体制としては、専任部署である業務監査部が業務活動の適法性および合理性の観点から各部門の業務監査を実施し、その結果については、経営者、社外取締役、監査役などに報告を行っています。

監査役は、定期的に業務監査部から内部監査の状況に関する報告、説明を受け、意見交換を行い、連携を図っています。常勤監査役は随時、業務監査部から活動状況および内部監査の結果等の報告を受け、必要に応じ助言および要請を行っています。監査役が会計監査人から監査計画や会計監査に関する報告、説明を受ける際には、業務監査部も出席し、三者の連携をより実効あるものとし、監査機能の強化に努めています。

### 納税コンプライアンス

当社グループが企業規範に掲げる「遵法に徹した公正な企業活動」の考え方にのっとり、企業活動を通じて得た利益について各国法令に基づき適正に申告、納税し、社会に貢献しています。なお2020年度の連結会社全体の納税額は1,014億円です。

### コーポレートガバナンス・コードへの対応

東京証券取引所の「コーポレートガバナンス・コード」への対応状況につきましては、各原則全てを実施しています。

(詳細はコーポレート・ガバナンス報告書等をご覧ください。)

**WEB** [https://www.shinetsu.co.jp/jp/sustainability/esg\\_governance/](https://www.shinetsu.co.jp/jp/sustainability/esg_governance/)



社外役員の活動状況（2021年3月期）

|                                                                                                             | 重要な兼職の状況<br>(2021年3月31日現在)                                                  | 活動状況                                                                                                                     | 取締役会、<br>監査役会の出席率<br>(2021年3月期) |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------|
| <br>社外取締役<br>フランク・ピーター・ポポフ |                                                                             | グローバル企業としての長い歴史を有する米国旧ダウ・ケミカル社において、CEOを務めた経営経験を活かし、当社が世界で事業を拡大し企業価値を高めていくうえで、極めて重要な意見と助言を行うとともに、独立した立場からの監督を十分に行いました。    | 取締役会<br>92%                     |
| <br>社外取締役<br>宮崎 毅          | 三菱倉庫株式会社<br>相談役                                                             | 三菱倉庫株式会社での経営経験を活かし、企業経営者としての豊富な経験と卓越した知見に基づき、リスク管理やESG等に関する有益な提言を行うとともに、独立した立場からの監督を十分に行いました。                            | 取締役会<br>100%                    |
| <br>社外取締役<br>福井 俊彦         | 一般財団法人<br>キャノングローバル戦略研究所<br>理事長<br>キッコーマン株式会社<br>社外取締役                      | 元日本銀行総裁としての世界の金融および経済に関する卓越した知見と豊富な経験を活かし、グローバル経済におけるリスク等に関する有益な提言を行うとともに、独立した立場からの監督を十分に行いました。                          | 取締役会<br>100%                    |
| <br>社外取締役<br>小宮山 宏        | 株式会社三菱総合研究所<br>理事長                                                          | 東京大学総長等を歴任した同氏は、化学工学、地球環境、資源およびエネルギーなどの幅広い分野に係る卓越した知見と豊富な経験を活かし、再生可能エネルギーの活用などESG等に関する有益な提言を行うとともに、独立した立場からの監督を十分に行いました。 | 取締役会<br>100%                    |
| <br>社外取締役<br>中村 邦晴       | 住友商事株式会社<br>取締役会長<br>日本電気株式会社<br>社外取締役                                      | 住友商事株式会社での経営経験を活かし、幅広い分野の国際ビジネスにおける卓越した知見と豊富な経験に基づき、グループ経営等に関する有益な提言を行うとともに、独立した立場からの監督を十分に行いました。                        | 取締役会<br>100%                    |
| <br>社外監査役<br>福井 琢        | 弁護士<br>柏木総合法律事務所<br>マネージングパートナー<br>慶應義塾大学大学院<br>法務研究科教授<br>ヤマハ株式会社<br>社外取締役 | 監査役会において法律に関する専門的見地からの発言を行いました。また、当社の事業所および子会社の調査等を行うなど、監査機能を十分に発揮しました。                                                  | 取締役会<br>92%<br>監査役会<br>100%     |
| <br>社外監査役<br>小坂 義人       | 公認会計士<br>税理士<br>飛悠税理士法人代表社員                                                 | 監査役会において財務および会計に関する専門的見地からの発言を行いました。また、当社の事業所および子会社の調査等を行うなど、監査機能を十分に発揮しました。                                             | 取締役会<br>100%<br>監査役会<br>100%    |
| <br>社外監査役<br>永野 紀吉       | レック株式会社<br>社外取締役                                                            | 監査役会において旧株式会社ジャスダック証券取引所での経営経験に基づく幅広い見地からの発言を行いました。また、当社の事業所および子会社の調査等を行うなど、監査機能を十分に発揮しました。                              | 取締役会<br>100%<br>監査役会<br>100%    |

マネジメント

取締役および監査役（2021年6月29日現在）

|                                                                                                         |                                                                                                          |                                                                                                         |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <br>代表取締役会長<br>金川 千尋 | <br>代表取締役副会長<br>秋谷 文男 | <br>代表取締役社長<br>齊藤 恭彦 |
| シンテックINC. 取締役会長、創業者                                                                                     | 半導体事業・技術関係担当、<br>信越半導体(株)代表取締役社長                                                                         | シンテックINC. 取締役社長、<br>シンエツハンドウタイアメリカINC. 取締役社長                                                            |
| 取締役兼専務執行役員                                                                                              | 上野 進                                                                                                     | 新規製品関係担当、シリコン事業本部長                                                                                      |
| 取締役兼専務執行役員                                                                                              | 轟 正彦                                                                                                     | 半導体事業部業務部長、信越半導体(株)専務取締役                                                                                |
| 取締役相談役                                                                                                  | 森 俊三                                                                                                     |                                                                                                         |
| 取締役                                                                                                     | フランク・ピーター・ポポフ※1                                                                                          |                                                                                                         |
| 取締役                                                                                                     | 宮崎 毅※1                                                                                                   | 三菱倉庫(株)相談役                                                                                              |
| 取締役                                                                                                     | 福井 俊彦※1                                                                                                  | 一般財団法人キャノングローバル戦略研究所理事長、キッコーマン(株) 社外取締役                                                                 |
| 取締役                                                                                                     | 小宮山 宏※1                                                                                                  | (株)三菱総合研究所理事長                                                                                           |
| 取締役                                                                                                     | 中村 邦晴※1                                                                                                  | 住友商事(株) 取締役会長、日本電気(株) 社外取締役                                                                             |
| 常勤監査役                                                                                                   | 岡本 博明                                                                                                    |                                                                                                         |
| 常勤監査役                                                                                                   | 小根澤 英徳                                                                                                   |                                                                                                         |
| 監査役                                                                                                     | 小坂 義人※2                                                                                                  | 飛悠税理士法人代表社員                                                                                             |
| 監査役                                                                                                     | 永野 紀吉※2                                                                                                  | レック(株) 社外取締役                                                                                            |
| 監査役                                                                                                     | 加々美 光子※2                                                                                                 | 加々美法律事務所パートナー弁護士、(株)メディアバルホールディングス社外取締役、<br>相鉄ホールディングス(株)社外取締役                                          |

※1 会社法第2条第15号に定める社外取締役です。

※2 会社法第2条第16号に定める社外監査役です。

執行役員（2021年6月29日現在）

|        |       |                                                             |
|--------|-------|-------------------------------------------------------------|
| 常務執行役員 | 秋本 俊哉 | 秘書室・広報・法務・資材関係担当、デジタル推進室長                                   |
| 常務執行役員 | 荒井 文男 | 有機合成事業部長、シンエツPVC B.V. 取締役社長、<br>SE タイロースGmbH & Co. KG 取締役社長 |
| 常務執行役員 | 松井 幸博 | 特許関係担当、電子材料事業本部長                                            |
| 常務執行役員 | 宮島 正紀 | 精密材料事業関係担当、塩ビ事業本部長                                          |
| 常務執行役員 | 池上 健司 | 総務・人事・業務監査関係担当                                              |
| 執行役員   | 笠原 俊幸 | 社長室関係担当、経理部長                                                |
| 執行役員   | 丸山 和政 | 新機能材料事業部長                                                   |
| 執行役員   | 塩原 利夫 | 研究開発関係担当、電子材料事業本部副本部長(有機材料関係担当)                             |
| 執行役員   | 高橋 義光 | 環境保安関係担当、企業開発部長                                             |
| 執行役員   | 安岡 快  | 国際事業本部長                                                     |

## 非財務データ

### ESGハイライト(2021年3月期)

|                                       |            | 単位                   | 2018年度             | 2019年度             | 2020年度             |
|---------------------------------------|------------|----------------------|--------------------|--------------------|--------------------|
| 温室効果ガス※1の排出量                          |            | 千CO <sub>2</sub> -トン | 5,959              | 6,116              | 6,091              |
| 水の使用量※1(取水量と循環水量の合計)                  |            | 百万m <sup>3</sup>     | 2,216              | 2,278              | 2,475              |
| 従業員数※1                                | 合計(うち日本以外) | 人                    | 21,735<br>(13,354) | 22,783<br>(14,118) | 24,069<br>(15,321) |
| 休業災害度数率<br>(100万労働時間当たりの休業災害発生頻度)※2※4 |            | %                    | 0.22               | 0.28               | 0.19               |
| 離職率(自己都合のみ)※3                         |            | %                    | 0.7                | 0.7                | 1.0                |
| 育児休業取得者(女性)／(男性)※1※5                  |            | 人                    | 100／90             | 91／71              | 66／84              |
| 女性管理職の人数※1                            |            | 人                    | 392                | 433                | 517                |
| 廃棄物発生量※2※6                            |            | 千トン                  | 105.1              | 102.8              | 99.2               |
| 廃棄物再資源化率※2※6                          |            | %                    | 69.9               | 69.2               | 67.8               |

2020年度より一部集計対象範囲を変更しております(同様に2018年度、2019年度も変更)。各項目の集計対象範囲は以下の通りです。

※1：【集計対象範囲】信越化学および連結会社

※2：【集計対象範囲】信越化学および国内連結会社

※3：【集計対象範囲】信越化学単体

※4：暦年で集計

※5：育児休業期間は各国の法律にのっとっているため、国によって異なります。

※6：廃棄物は国によって基準が異なります。

### 外部からの評価

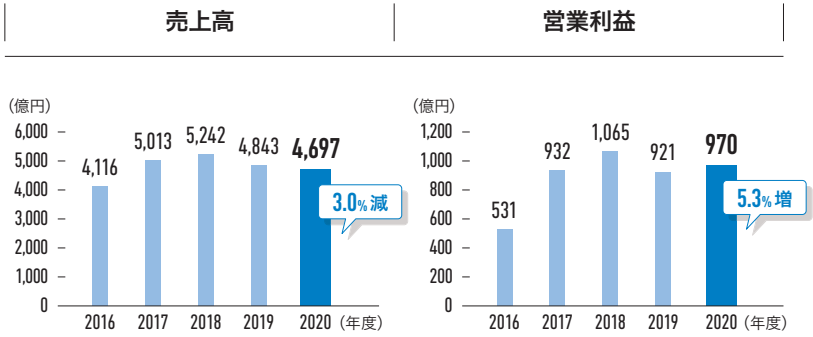


※信越化学工業株式会社のMSCIインデックスの組み入れ、およびMSCIロゴ、商標、サービスマーク、またはインデックス名の使用は、MSCIまたはその関連会社による信越化学工業株式会社のスポンサーシップ、推薦またはプロモーションを意味するものではありません。MSCIインデックスは、MSCIの独占的財産であり、その名称とロゴは、MSCIまたはその関連会社の商標またはサービスマークです。

## 事業一覧

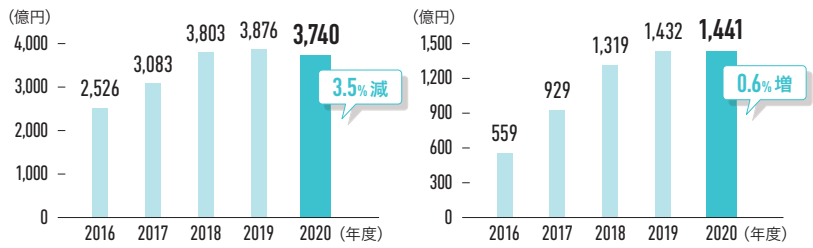
### 塩ビ・化成品事業

米国のシンテック社において、フル操業を継続し、塩化ビニル、か性ソーダともに高水準の出荷を維持しました。同社は4～5月の経済活動制限による市況下落の影響を受けましたが、その後世界的に需給が引き締まり値上げを実施しました。欧州拠点および国内拠点も販売数量の維持に努め、市況の改善を享受しました。



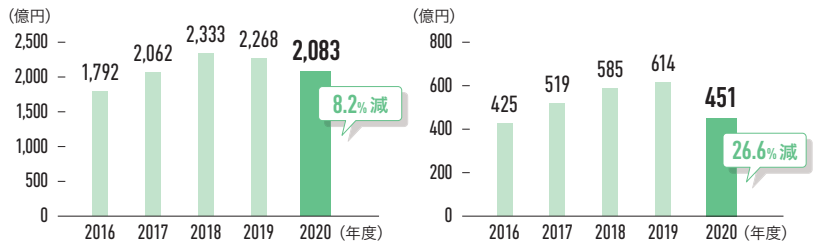
### 半導体シリコン事業

経済活動の再開に伴い、需要が増加しました。



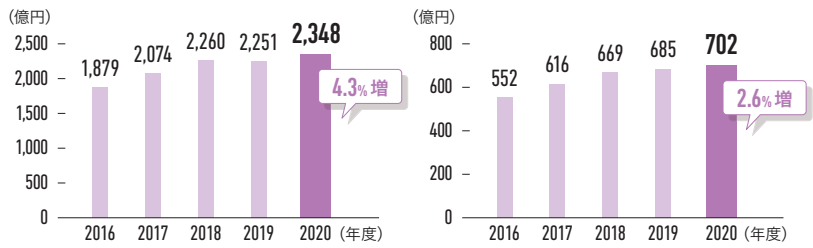
### シリコン事業

汎用製品の価格下落に加え、化粧品向けや車載向けの需要鈍化の影響を受けました。秋口から顧客需要が復調し始めました。



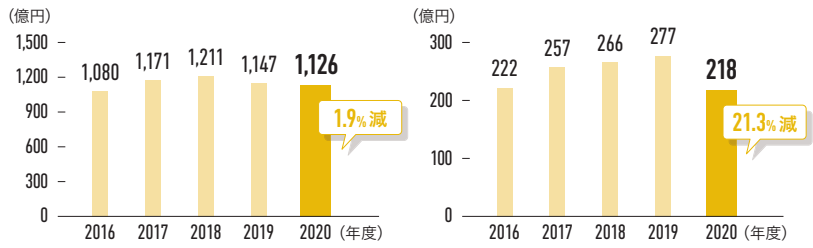
### 電子・機能材料事業

希土類磁石は、第1四半期当初経済活動制限により一時海外工場の稼働に影響を受けましたが、下期に入り、車載向けは強い回復を示し、ハードディスクドライブ向けも好調に推移しました。フォトレジスト製品は、ArFレジストやEUVレジストを中心に好調を継続しました。マスクブランクスも先端、汎用用途ともに堅調に推移しました。光ファイバー用プリフォームは市況悪化の影響を受け厳しい状況が続きました。大型パネル用フォトマスク基板は需要鈍化の影響を受けました。



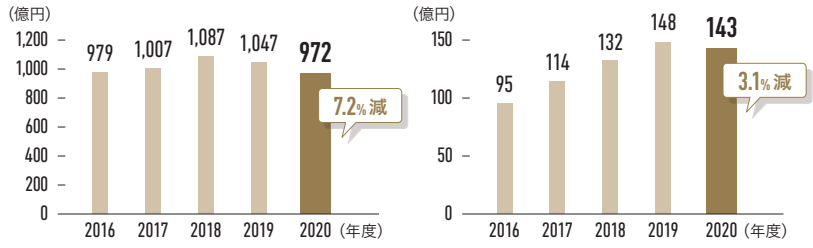
### 機能性化学品事業

セルロース誘導体は、医薬用製品は底堅く推移しましたが、建材用製品が振るいませんでした。フェロモン製品やポパール製品は出荷が低調に推移しました。



### 加工・商事・技術サービス事業

信越ポリマー社の半導体ウエハー容器の出荷は堅調でしたが、自動車用入力デバイスが自動車市況悪化の影響を受けました。





# 塩ビ・化成品事業



## 事業概要

塩化ビニル樹脂（塩ビ）は、生活用品から産業用資材に至るまで幅広く利用されている汎用樹脂で、当社グループは米国、欧州、日本の3拠点で合わせて年産415万トンの生産能力を有しています。

米国塩ビ子会社のシンテック社は1974年に年産10万トンで操業を開始して以来増設を重ね、今日では年産295万トンの生産能力を持つ世界最大の塩ビメーカーです。原料の安定調達を目的としたエチレン工場の新設に加え、塩ビの原料からの一貫工場の建設により、さらなる生産能力の増強を進め、世界中のお客さまに製品を安定供給しています。



## 製品供給を通じた持続可能な開発目標（SDGs）達成への貢献

塩ビの原料の約6割は地球に豊富に存在する塩です。他の汎用樹脂に比べると石油資源への依存度が低く、環境への負荷が小さいことが特長です。

塩ビの原料から製造工程に至るエネルギー消費量は、他の汎用樹脂の約6割です。耐久性が高くリサイクルも容易なことから、塩ビを使用した樹脂窓や上下水道用の塩ビ管など、建築、土木をはじめとした社会基盤素材として広く使われています。



## 用途

### 塩ビ

#### 塩ビパイプ

塩ビの上下水道管は、50年以上交換不要でインフラの長寿命化に貢献します。



#### 農業用 ビニルハウス

塩ビはリサイクルしやすい素材です。農業用ビニルハウス向けの塩ビは、50%以上リサイクルされています。



#### 電線被覆材

絶縁性や耐久性に優れ、しなやかで破損にくい塩ビは、電線の被覆材として使われています。



#### 樹脂窓

断熱性に優れ、アルミ製の窓枠を使った窓と比べて窓から逃げる熱量を約70%削減することが可能です。冷暖房効果が高まり、省エネルギーにも貢献します。



#### サイディング材

軽量で施工が容易な化粧外装材で、耐候性、耐衝撃性、腐食に強い特性があります。



### か性ソーダ

#### アルミナ

ボーキサイトをか性ソーダで溶解して作られる水酸化アルミニウムは、アルミナ（酸化アルミニウム）の原料となります。



#### 紙・パルプ

溶解パルプの製造工程で、木質チップの蒸解と漂白に使用されます。



#### リチウムイオン 電池の正極材

携帯電話やノートパソコンなどの電子機器や、世界的に普及が進んでいる電気自動車に搭載されているリチウムイオン電池の正極材の原料として使用されています。



#### 高吸水性 ポリマー

紙おむつの吸収剤として欠かせない、高吸水性ポリマーの原料として使われています。



### 次亜塩素酸ソーダ

#### 次亜塩素酸 ソーダ

食品や水道水を殺菌し、安全を守るために使用されます。感染症の予防にも役立っています。





# 半導体シリコン事業



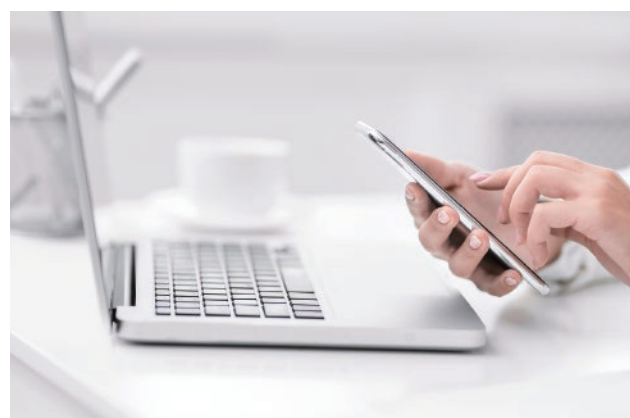
## 事業概要

当社グループは、半導体の基板に使われるシリコンウエハーの世界一のメーカーとして、高純度化や超平坦化の最先端を走り続けています。これまで300mmウエハーや高速および低消費電力を実現するSOI(Silicon on Insulator)ウエハーの量産化にもいち早く成功するなど、優れた製品を市場に提供しています。当社グループの高精度単結晶技術や高度加工技術に加え、先端ロジックや先端撮像素子用の高品質エピタキシャル成長技術、品質管理や評価解析の技術は、世界中のお客さまから高い評価をいただいています。IoT、AI、5G通信、自動運転などの進展に伴い、さらに技術と品質に磨きをかけ、半導体デバイスの開発と生産を支える高度なシリコンウエハーの安定供給を続けていきます。



## 製品供給を通じた持続可能な開発目標(SDGs)達成への貢献

シリコンウエハーは、高度情報化社会を支える基本素材として、電子機器の高性能化と小型軽量化はもとより省電力、省エネルギーにも貢献しています。特に自動車では環境対応や安全性の向上、自動運転に向けて不可欠な材料になっています。また、電力消費を最小限に抑えられるパワー半導体は、高電圧・高電流にも対応が可能で、主に電子機器への電力の安定供給に役立っています。低速から高速に至る正確なモータ駆動制御システムや、発電機から伝送線への効率的な電力伝達を可能とする省電力トランジスタにも、当社グループの製品が使われています。



### シリコンウエハー

デジタル機器・自動車の電装部品  
スマートフォン、パソコンなどの電子機器、データセンターや自動車などに使われる半導体デバイスの基板材料として利用されています。



### 化合物半導体製品

#### LED部品

屋外ディスプレイ、信号機、車載ストップランプ、センサー光源など広い範囲で利用されています。

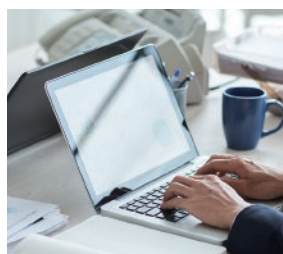


## 用途

### 通信・コンピューター



データセンター



パソコン



スマートフォン

### 自動車



電気自動車



ハイブリッドカー



カーナビ

### 民生



テレビ



ゲーム



スマートウォッチ



デジタルカメラ



ドラム式洗濯機



省エネエアコン



炊飯器



電子レンジ

### 産業



産業用ロボット

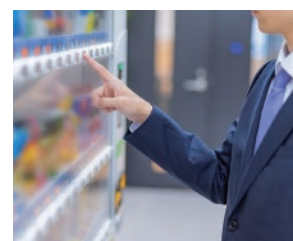
### その他



新幹線



銀行ATM



自動販売機



## シリコン事業



## 事業概要

当社グループは、1953年に日本で初めてシリコンを事業化しました。それ以来、品質と技術力、そして市場ニーズへのきめ細やかな対応により、国内はもとより世界でシェアを伸ばしています。シリコンは、無機と有機の性質を兼ね備え、数多くの優れた特性を併せ持った高機能樹脂です。現在までに開発した製品数は5,000品種を超え、電気・電子、自動車、建築、化粧品、ヘルスケア、食品など、幅広い分野に使われています。

| シリコンの主原料                                                                                                       | シリコンの代表的な形状                                                                                                      | シリコンの代表的な特性                                                                                                               |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <br>ケイ石 (SiO <sub>2</sub> ) | <br>オイル<br>パウダー<br>液状ゴム<br>ゴム | <div>耐熱性</div> <div>接着性</div> <div>耐寒性</div> <div>消泡性</div> <div>電気絶縁性</div> <div>撥水性</div> <div>離型性</div> <div>耐候性</div> |



## 製品供給を通じた持続可能な開発目標(SDGs)達成への貢献

シリコンは、地殻の表層を構成する元素のうち、酸素に次いで2番目に多く存在するケイ素(Si)を主原料としています。石油資源への依存度も低く、環境への負荷が小さい材料といえます。また、電気自動車やエコタイヤ、LED照明、太陽光発電などの環境配慮型製品に使用され、持続可能な社会の実現に貢献しています。

## TOPICS

## 省資源化に貢献する「低白金反応硬化技術」を開発

シール、ラベル、粘着テープなどの剥離紙に使われているシリコン剥離剤は、一般的に白金系の硬化触媒を使用していますが、白金は高価な希少金属で、資源の枯渇問題などがあります。当社が新たに開発した「低白金反応硬化技術」は、シリコンに高い反応性を示す構造を導入することにより、白金の使用量を従来の約2分の1にしても硬化させることができ、省資源化に貢献します。



## 用途

## 化粧品

各種化粧品の使い心地や機能を高め、多様化する化粧品市場のニーズに応えています。



## 建物

ガラスまわりの防水シーリング材として幅広く使われています。



## リチウムイオン電池

電気自動車などに搭載されるリチウムイオン電池の放熱材料に使われています。



## プラスチック製品

樹脂の改質剤に用いられ、プラスチック製品の高機能化、高性能化に貢献しています。



## コンタクトレンズ

酸素透過性に優れているため、コンタクトレンズの素材として活用されています。



## 繊維処理剤

柔軟な風合いや撥水性などの機能を付与しています。



## CPAP※装置

睡眠時無呼吸症候群の治療に使うCPAP装置のマスクに使われています。シリコンは肌に優しく、ソフトに密着します。

※Continuous Positive Airway Pressure(シーバップ:持続陽圧呼吸療法)



## 船底塗料

海洋生物の付着防止による燃費向上と高い安全性により、海の環境保全に貢献しています。



## エコタイヤ

タイヤの改質剤として、転がり抵抗を低減することができ、燃費向上に役立ちます。



## 玩具

シリコンの安全性や透明性が活かされ、玩具の材料に使われています。



写真提供：株式会社セガトイズ



# 電子・機能材料事業



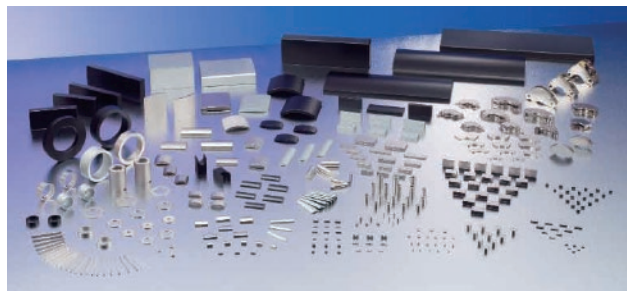
## 事業概要

ハイブリッドカーや電気自動車、産業用機器、家電製品などに使用されるモータの小型化と軽量化に不可欠なレア・アースマグネットや、半導体の製造工程に使用されるフォトレジスト、フォトマスクブランクス、封止材、ペリクルなどを供給しています。さらに、光ファイバー用のプリフォーム、液晶などのフラットパネルディスプレイ用の大型フォトマスク基板に使用される高純度の合成石英なども供給し、高度情報化社会のニーズにも応えています。



## 製品供給を通じた持続可能な開発目標 (SDGs) 達成への貢献

レア・アースマグネットは従来のフェライト系磁石に比べ約10倍の磁力を有し、モータの小型化と軽量化に加え回生電力の増加も実現します。環境対応自動車や省エネエアコンなど、さまざまな製品の電力効率を高めながら、温室効果ガス排出量の削減に貢献しています。



角型、リング型、シリンダー型など各種レア・アースマグネット

### TOPICS

#### 半導体用フォトレジスト市場の拡大に応える設備投資を実施

当社は、先端半導体製造に不可欠なフォトレジストの設備投資を、日本と台湾の製造拠点において合計300億円を投じ実施しています。台湾の信越電子材料股份有限公司では2021年2月に増設工事が完了。日本の直江津工場(新潟県上越市)では2022年2月までの完成を目指し工事が進行中です。半導体関連材料の伸長する需要と技術進化に応え、事業基盤の強化をさらに進めていきます。



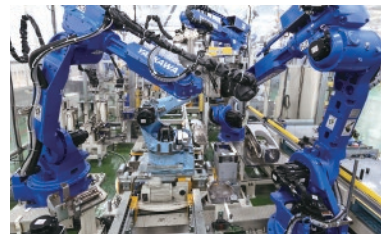
信越電子材料股份有限公司(台湾雲林県)

## 主要製品と用途

### レア・アースマグネット

自動車の駆動モータや発電機、産業用ロボット、エアコン用のコンプレッサーモータ、データセンター向けなどのハードディスクドライブの駆動装置、風力発電機のモータなどに使われ、省エネルギーやCO<sub>2</sub>排出量の削減に貢献しています。当社では原料となるレア・アースの分離精製から加工までを一貫して手がけています。さらに、磁石の性能はそのままに重希土の使用量を削減する粒界拡散合金法を独自に開発するなど、優れた特性や品質を持つレア・アースマグネットを安定供給しています。

産業用ロボット



写真提供：株式会社安川電機

省エネエアコン



ハードディスクドライブの駆動装置



### レア・アース

CTスキャンやPET\*など画像診断装置のシンチレータ(検知機)発光素子に使われ、医療現場でのより安全な検査等に貢献しています。

※Positron Emission Tomography(陽電子放出断層撮影)

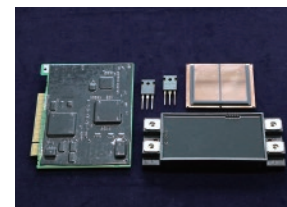


洋上風力発電



### 半導体デバイス用封止材料

耐熱性、耐クラック性に優れており一般半導体に加えて、自動車用パワーモジュールや家電用デバイスなどに使われています。また、大型パッケージ用に開発した封止材は、材料の有効使用率を向上し、かつデバイスの製造コストの削減に貢献します。



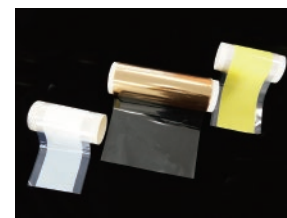
### 液状(ペースト状)封止材および接着剤

電子デバイス用として設計された高信頼性材料です。エポキシ材料は、汎用半導体デバイスに加え、ロジックや自動車用電子デバイスの封止や接着剤として、また、アンダーフィル材として使われています。シリコン材料は、高透明性と耐光性に優れており、LED照明や各種センサー(IRセンサー、圧力センサー他)などの封止や接着剤として使われています。



### 多機能フィルム材料

透明性および耐光性に優れており、色調整(色変換)や光拡散膜としてLED照明や携帯電話で使われています。フレキシブルデバイス用に柔軟性および高伸縮性を付与したフィルム、さらに、最先端基板および高速通信デバイス用に設計した低誘電かつ低吸水のフィルムなど、最先端のニーズにお応えしたフィルム材料を取りそろえています。



### 低誘電材料

#### SLK樹脂

熱硬化性樹脂として最も低い誘電正接を持ち、5Gなどの高速通信用有機基板や半導体デバイスの封止に使用することで極めて低い伝送損失を実現します。



#### 石英ガラスクロス

高周波帯域において理想的な誘電特性を持った材料です。高速通信用やアンテナ基板などの強化剤(プリプレグ形成材料)として、熱可塑性樹脂や熱硬化性樹脂など幅広い樹脂基板に使用され、高周波・高速伝送分野で通信性能の向上に大きく貢献します。



### 半導体用高純度シラン

半導体絶縁膜やエピタキシャルウエハーなどに使われます。高度な精製技術により純度の高い製品を安定的に供給しています。



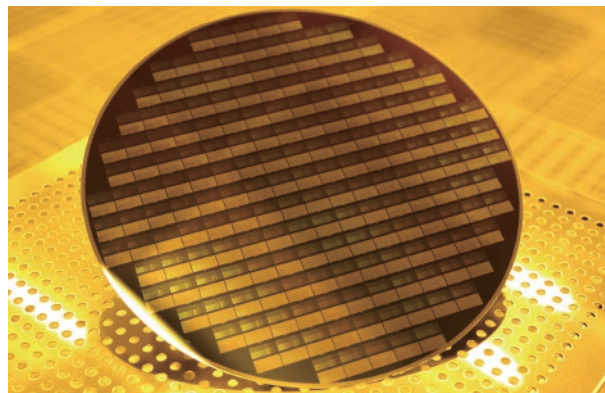


# 電子・機能材料事業

## 主要製品と用途

### フォトレジスト

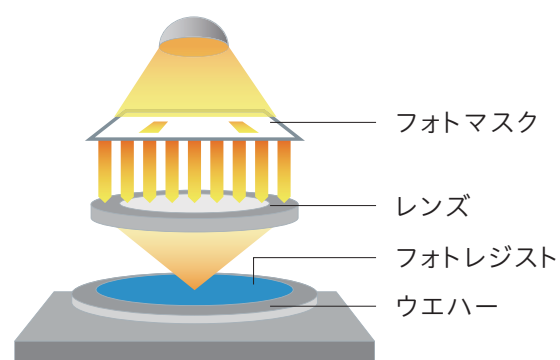
当社は素材メーカーとしての強みを生かし、原料のポリマー合成から調合までの一貫製造を行っています。半導体回路のパターン転写に使用される感光材料としてのエキシマレーザー（KrF、ArF、EUV）用フォトレジストや薄膜磁気ヘッド、MEMS用などの厚膜i線フォトレジストを製品化しています。さらに先端の微細化プロセス用に多層材料製品のラインアップがあります。これらは、半導体デバイス製造のリソグラフィー工程に必要な材料として、半導体の高集積化、高速化、高機能化を支えています。



### フォトマスクブランクス

フォトマスクブランクスは、合成石英の基板上に薄い金属膜を形成したものです。半導体製造工程において、シリコンウエハーの上に回路を描画する際に、回路の原版となるフォトマスクの材料として用いられます。

当社は、KrF、ArF用のフォトマスクブランクスに加え、主要原材料の高性能化と高品質化を図り、最先端のデバイス製造に要求される多層膜構造や耐光性に優れた透過膜構造など、今までにない最先端フォトマスクブランクス of 量産技術を確認し、デバイスメーカーからのニーズに応えています。



### 液状フッ素エラストマーSHIN-ETSU SIFEL®

シリコンの付加反応技術に応用し、加熱すると硬化してゴム弾性体になる液状フッ素エラストマーSHIN-ETSU SIFEL®の開発に世界で初めて成功しました。

SHIN-ETSU SIFEL®は、耐熱性、耐寒性、耐油性、耐溶剤性、耐薬品性などの優れた機能と加工性を兼ね備え、自動車、航空機、電子機器、光学用途など幅広い分野で利用されています。



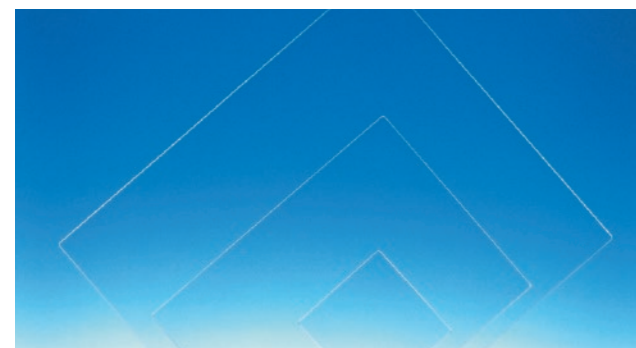
### フッ素系防汚コーティング剤・防汚添加剤

当社のフッ素系防汚コーティング剤は眼鏡レンズやスマートフォンのカバーガラス、保護フィルムなどに使われています。表面に形成されるナノレベルのフッ素の被膜が水や油をはじき、指紋などの汚れを拭き取りやすくします。また、優れた滑り性により、スマートフォンの操作性向上にも寄与しています。ハードコート剤に添加し、同様の機能を付与する防汚添加剤も製品群に加え、お客さまのニーズに応えています。



### 合成石英

光ファイバーの原料となる合成石英は、光の透過性に優れていることが特徴です。一般の板ガラスでは光は約2mで減衰しますが、合成石英は約100km先まで届きます。当社グループでは、天然石英より純度の高い合成石英の量産化に世界で初めて成功しました。光ファイバーをはじめ、半導体の回路書き込みに使われるLSI用フォトマスク基板やステッパー用レンズ、液晶などのフラットパネルディスプレイ（FPD）用の大型フォトマスク基板などに利用され、高度情報化社会の発展を支えています。



半導体やFPDの回路書き込みに使われるフォトマスク基板

### 酸化物単結晶（LT／リチウム・タンタレート）

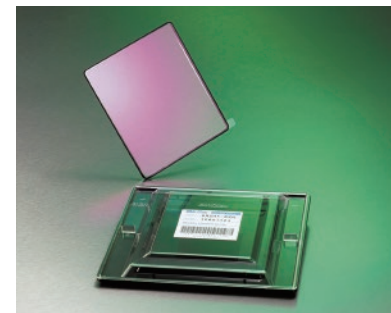
LTは、電波をふるいにかけ特定の周波数のみを取り出すSAW\*デバイスに用いられ、移動体通信機器やテレビのチューナーなどに使われています。酸化物単結晶は、今日のスマートフォンの普及に貢献するなど、現代の情報化社会において大きな役割を果たしています。



\*Surface Acoustic Wave  
（表面弾性波）

### ペリクル

ペリクルは、フォトマスク用の防塵カバーです。当社はArFやKrFエキシマレーザー光源に対応した高品質のペリクルを提供しています。優れた耐光性と透過率均一性を持ち、徹底した低アウトガス対策を施した当社のペリクルは、微細化の進む半導体デバイスの生産を支えています。また、液晶パネル製造用の超大型ペリクルの開発にも成功し、量産しています。



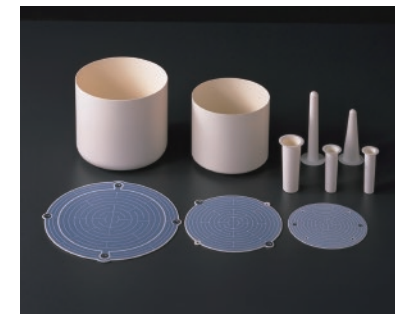
光ファイバー用プリフォーム



FPD用大型フォトマスク基板

### 超高純度窒化ホウ素（PBN／パイロリティック・ボロン・ナイトライド）

PBNは、耐薬品性や高温強度に優れた超高純度のセラミックスです。このPBNの初の国産化に成功したのも、信越化学です。PBNはその特性を生かし、化合物半導体や分子線エビタキシー用るつばに加え、MOCVD装置や有機EL装置など、応用分野が拡大しています。



### リチウムイオン電池用負極材

SiOなどケイ素系材料は、高容量で高出力の次世代リチウムイオン電池の負極材として期待されています。当社は独自の方法でSiO粒子に導電性を付与することに成功しました。





# 機能性化学品事業



## 事業概要

機能性化学品事業の主要製品は、天然の高分子セルロースから作られる自然に優しい素材「セルロース誘導体」です。その用途は多岐にわたり、医薬品や食品をはじめ、建築および土木、塗料、セラミックス、トイレタリーの分野で活躍。国内最大のシェアを占め、日本、欧州、米国に生産拠点を有する大手メーカーとして世界の需要に応えています。その他、農業害虫の防除に使われる合成性フェロモン、機能性樹脂のポバール、シリコーンや半導体シリコン、合成石英などの主原料となる金属ケイ素など、多彩な製品を提供しています。



## 製品供給を通じた持続可能な開発目標 (SDG s) 達成への貢献

工業用セルロース誘導体は、水中でのコンクリートの分離を低減できることから、水を汚さずにコンクリートを打ち込めます。これにより水質汚濁防止などの環境保護に貢献しています。合成性フェロモンは、安全性が高く環境に優しい農業害虫の防除剤であり、畑にまかれる殺虫剤や農薬の削減を通じて、食の安全性向上に役立っています。



## 主要製品と用途

### セルロース誘導体

体内で薬が溶ける場所をコントロールしたり、薬を徐々に溶かすなどの機能を付与できます。地球温暖化防止に貢献する自動車の排ガス浄化装置の成型を助ける結合剤としても使われています。



### 合成性フェロモン

人工的に合成したフェロモンで害虫の雌雄の交信を乱して交尾を阻害します。



### 合成香料

青葉アルコールは、芳香剤や化粧品、食品などに幅広く利用されています。



### 金属ケイ素

シリコーン、半導体シリコン、合成石英などの主原料。オーストラリアのシムコアオペレーションズ社で生産しています。



### ポバール

日本酢ビ・ポバール(株)が製造・販売。水溶性合成樹脂の特徴を生かし、接着剤、各種フィルム、繊維処理剤、紙加工剤のほか、化粧品添加剤、医薬品添加剤など、多種多様な用途に使用されています。



### ソルバイン®

日信化学工業(株)が提供する接着性、溶解性に優れた塩化ビニル・酢酸ビニル系変性樹脂です。塗料、インキ、接着剤などに使用されています。



## TOPICS

### 植物由来の代替肉の結着剤「メトローズMCE-100TS」を開発

植物由来の代替肉は、大豆やエンドウ豆を原料とし、ベジタリアンやビーガン向けのほか、環境問題や人口増加による食料不足の低減が期待できる食品として注目されています。当社は植物由来の代替肉の結着剤としての用途に着目して、セルロース誘導体の製品のひとつである「メトローズMCE-100TS」を開発しました。この結着剤を使用することにより、大豆などの原料だけでは実現できない、動物由来の肉に似た食感を引き出すことに成功しました。



メトローズ®を結着剤に用いて作られたハンバーグ



# 加工・商事・技術サービス事業



## 事業概要

信越ポリマー社では、素材の加工技術を駆使し、操作性や機能性を高めた製品を開発し、提供しています。

信越エンジニアリング社は、主に当社グループの製造工場の設計、建設事業を手がけています。グループ外のお客さまからもその技術を高く評価されています。

### 主要製品と用途

#### 信越ポリマー

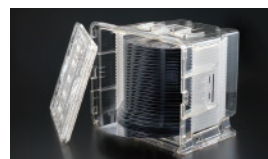
##### 入力デバイス

自動車のダッシュボードのオーディオやエアコンなどの入力デバイスを提供しています。



##### ウエハーケース

シリコンウエハーの輸送用ケースや、デバイスメーカーの工程内搬送ケースを提供しています。



##### カテーテル

シリコン加工技術で、複雑化するカテーテルを提供しています。



##### OA機器用各種ローラー

シリコンゴムを素材に、導電、発泡、複合など独自の加工技術を駆使した現像ローラー、定着ローラーなどを提供しています。



##### ラッピングフィルム

伸びと密着性に優れた塩化ビニル製のラップを提供しています。



### TOPICS

#### インド・欧州の車載向け需要に対応し、供給能力を強化

信越ポリマー社では、主力事業の一つである自動車関連入力デバイス製品の供給能力の強化に取り組んでいます。自動車の電装化、電動化にともなう需要拡大を見込むなか、2021年5月にインドの生産拠点において第三棟が完成しました。インド国内に加え、欧州市場の車載向け需要に対応するなど、事業のさらなる成長を目指します。



完成した第三棟

#### 信越エンジニアリング

##### エンジニアリング

当社グループのプラント設計、建設や設備管理を手がけています。



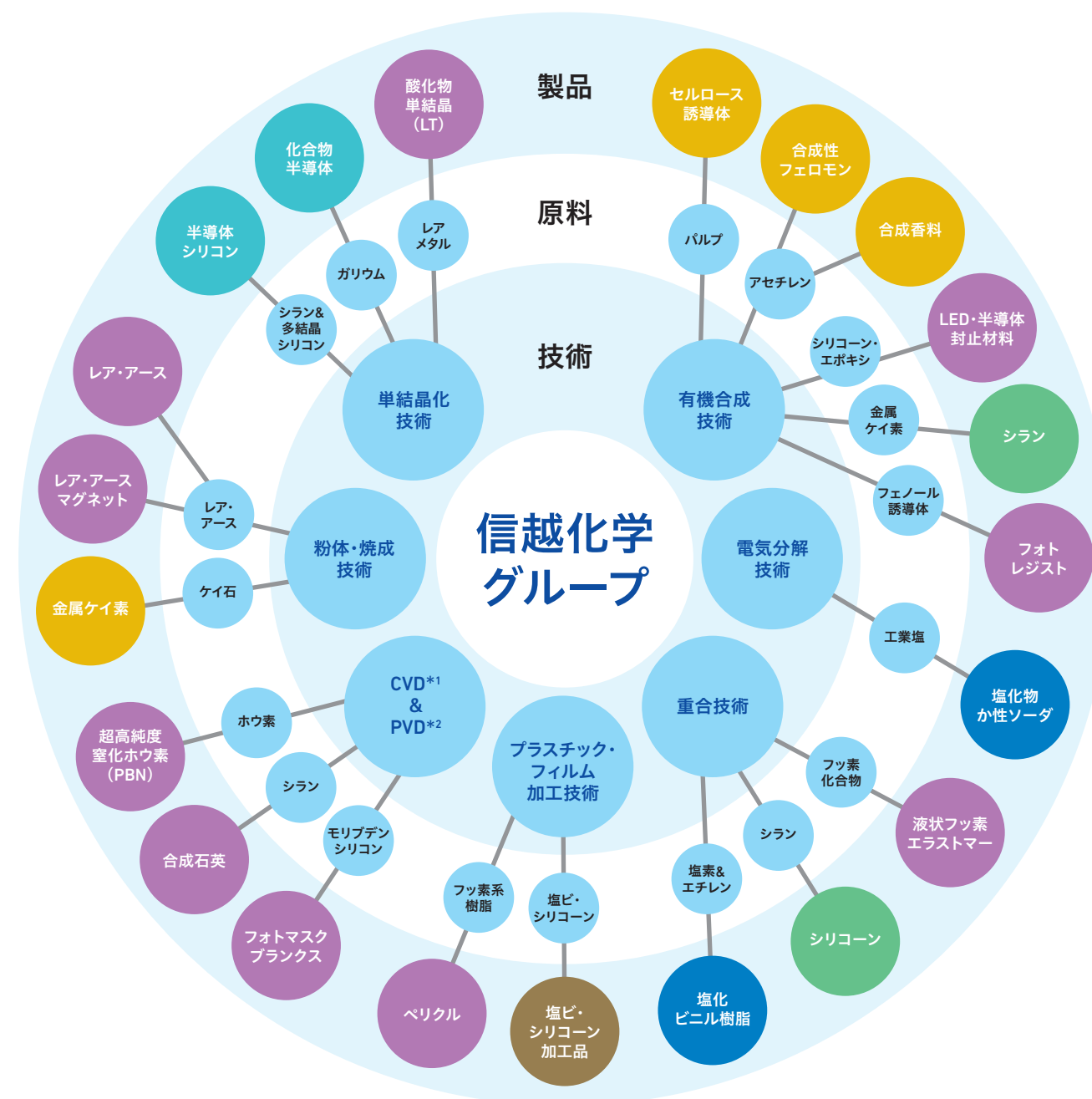
##### 真空重ね合わせ装置

大型液晶パネルの生産を支える「真空重ね合わせ装置」を設計、製作しています。



## 信越化学グループの技術・原料・製品チャート

当社グループが製品の多様化および高度化に対応していく過程で蓄積してきた生産技術により、幅広い産業分野に貢献する多彩な製品群を生み出しています。



#### 事業セグメント

- 塩ビ・化成品
- シリコン
- 機能性化学品
- 半導体シリコン
- 電子・機能材料
- 加工・商事・技術サービス

原料や市場など、相互に緊密なつながりをもち、多彩な領域に用いられる素材を生み出すことで経済情勢に左右されにくい強固な事業構造を築いています。

\*1 CVD (Chemical Vapor Deposition)

化学的気相成長法。原料ガスに熱やプラズマ、光などのエネルギーを加えて分解させて、化学反応により膜を堆積する方法。

\*2 PVD (Physical Vapor Deposition)

物理的気相成長法。固体原料を加熱、スパッタリング、イオンビーム照射などで原子・分子状の粒子として蒸発・飛散させ、基板表面に付着堆積させる方法。



# 10年間の財務サマリー

信越化学工業株式会社および連結子会社 2012年から2021年3月期

より詳しい情報は、当社ホームページに掲載される有価証券報告書をご覧ください。

[WEB https://www.shinetsu.co.jp/jp/ir/ir-data/](https://www.shinetsu.co.jp/jp/ir/ir-data/)

| 百万円                |             |             |             |             |  |             |             |             |             |             |             |
|--------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|--|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 会計年度               | 2012        | 2013        | 2014        | 2015        |  | 2016        | 2017        | 2018        | 2019        | 2020        | 2021        |
| 売上高                | ¥ 1,047,731 | ¥ 1,025,409 | ¥ 1,165,819 | ¥ 1,255,543 |  | ¥ 1,279,807 | ¥ 1,237,405 | ¥ 1,441,432 | ¥ 1,594,036 | ¥ 1,543,525 | ¥ 1,496,906 |
| 売上原価               | 798,592     | 769,427     | 873,879     | 940,399     |  | 930,019     | 868,404     | 963,008     | 1,039,979   | 987,782     | 953,203     |
| 販売費及び一般管理費         | 99,505      | 98,938      | 118,130     | 129,814     |  | 141,262     | 130,383     | 141,601     | 150,352     | 149,702     | 151,489     |
| 営業利益               | 149,632     | 157,043     | 173,809     | 185,329     |  | 208,525     | 238,617     | 336,822     | 403,705     | 406,041     | 392,213     |
| 経常利益               | 165,237     | 170,207     | 180,605     | 198,025     |  | 220,005     | 242,133     | 340,308     | 415,311     | 418,242     | 405,101     |
| 親会社株主に帰属する当期純利益    | 100,643     | 105,714     | 113,617     | 128,606     |  | 148,840     | 175,912     | 266,235     | 309,125     | 314,027     | 293,732     |
| 設備投資額              | 87,165      | 86,841      | 83,155      | 109,903     |  | 134,753     | 145,647     | 176,283     | 240,618     | 265,018     | 228,801     |
| 研究開発費              | 35,725      | 37,671      | 43,546      | 47,165      |  | 53,165      | 49,020      | 51,768      | 56,436      | 48,536      | 51,264      |
| 減価償却費              | 82,868      | 80,961      | 91,445      | 96,918      |  | 100,466     | 93,087      | 112,016     | 137,570     | 131,172     | 143,807     |
|                    |             |             |             |             |  |             |             |             |             |             |             |
| 期末                 |             |             |             |             |  |             |             |             |             |             |             |
| 総資産                | ¥ 1,809,841 | ¥ 1,920,903 | ¥ 2,198,912 | ¥ 2,452,306 |  | ¥ 2,510,085 | ¥ 2,655,636 | ¥ 2,903,137 | ¥ 3,038,717 | ¥ 3,230,485 | ¥ 3,380,615 |
| 運転資本（流動資産－流動負債）    | 694,803     | 832,878     | 981,667     | 1,100,999   |  | 1,170,679   | 1,232,607   | 1,324,495   | 1,358,614   | 1,446,724   | 1,551,662   |
| 資本金                | 119,419     | 119,419     | 119,419     | 119,419     |  | 119,419     | 119,419     | 119,419     | 119,419     | 119,419     | 119,419     |
| 純資産                | 1,494,573   | 1,623,176   | 1,822,135   | 2,012,711   |  | 2,080,465   | 2,190,082   | 2,413,025   | 2,532,556   | 2,723,141   | 2,886,625   |
| 有利子負債              | 15,732      | 13,929      | 15,638      | 14,328      |  | 13,470      | 14,642      | 15,814      | 14,920      | 30,383      | 34,456      |
|                    |             |             |             |             |  |             |             |             |             |             |             |
| 1株当たり情報(円)         |             |             |             |             |  |             |             |             |             |             |             |
| 1株当たり当期純利益         | ¥ 237.03    | ¥ 248.94    | ¥ 267.20    | ¥ 302.05    |  | ¥ 349.46    | ¥ 412.86    | ¥ 624.28    | ¥ 725.99    | ¥ 755.17    | ¥ 706.76    |
| 潜在株式調整後1株当たり当期純利益  | －           | 248.92      | 267.07      | 301.98      |  | 349.42      | 412.83      | 624.10      | 725.92      | 755.01      | 706.26      |
| 1株当たり配当金           | 100.00      | 100.00      | 100.00      | 100.00      |  | 110.00      | 120.00      | 140.00      | 200.00      | 220.00      | 250.00      |
| 配当性向(%)            | 42.2        | 40.2        | 37.4        | 33.1        |  | 31.5        | 29.1        | 22.4        | 27.5        | 29.1        | 35.4        |
| 1株当たり純資産額          | 3,422.93    | 3,709.19    | 4,165.28    | 4,602.80    |  | 4,761.48    | 5,002.16    | 5,511.98    | 5,915.47    | 6,377.93    | 6,769.72    |
|                    |             |             |             |             |  |             |             |             |             |             |             |
| 主要指標               |             |             |             |             |  |             |             |             |             |             |             |
| 売上高営業利益率(%)        | 14.3        | 15.3        | 14.9        | 14.8        |  | 16.3        | 19.3        | 23.4        | 25.3        | 26.3        | 26.2        |
| 売上高当期純利益率(%)       | 9.6         | 10.3        | 9.7         | 10.2        |  | 11.6        | 14.2        | 18.5        | 19.4        | 20.3        | 19.6        |
| 自己資本当期純利益率(ROE)(%) | 7.0         | 7.0         | 6.8         | 6.9         |  | 7.5         | 8.5         | 11.9        | 12.8        | 12.3        | 10.7        |
| 総資産経常利益率(ROA)(%)   | 9.2         | 9.1         | 8.8         | 8.5         |  | 8.9         | 9.4         | 12.2        | 14.0        | 13.3        | 12.3        |
| 自己資本比率(%)          | 80.3        | 82.0        | 80.6        | 79.9        |  | 80.8        | 80.3        | 81.0        | 81.1        | 82.1        | 83.2        |
| 従業員数(人)            | 16,167      | 17,712      | 17,892      | 18,276      |  | 18,407      | 19,206      | 20,155      | 21,735      | 22,783      | 24,069      |
| 発行済株式数(千株)         | 432,106     | 432,106     | 432,106     | 432,106     |  | 432,106     | 432,106     | 432,106     | 427,606     | 416,662     | 416,662     |



連結貸借対照表

信越化学工業株式会社および連結子会社 2020年および2021年3月31日現在

| 百万円           |             |             | 百万円           |             |             |
|---------------|-------------|-------------|---------------|-------------|-------------|
| 資産の部          | 2020        | 2021        | 負債の部          | 2020        | 2021        |
| 流動資産          |             |             | 流動負債          |             |             |
| 現金及び預金        | ¥ 836,448   | ¥ 866,882   | 支払手形及び買掛金     | ¥ 136,442   | ¥ 125,410   |
| 受取手形及び売掛金     | 325,489     | 343,896     | 短期借入金         | 8,295       | 11,768      |
| 有価証券          | 251,377     | 286,039     | 未払金           | 75,094      | 63,595      |
| 商品及び製品        | 173,358     | 157,401     | 未払費用          | 73,292      | 69,226      |
| 仕掛品           | 16,828      | 13,102      | 未払法人税等        | 44,377      | 48,049      |
| 原材料及び貯蔵品      | 175,479     | 194,528     | 賞与引当金         | 3,661       | 3,663       |
| その他           | 52,723      | 59,085      | 役員賞与引当金       | 728         | 707         |
| 貸倒引当金         | (7,186)     | (6,028)     | その他           | 35,901      | 40,825      |
| 流動資産合計        | 1,824,519   | 1,914,909   | 流動負債合計        | 377,794     | 363,246     |
|               |             |             |               |             |             |
| 固定資産          |             |             | 固定負債          |             |             |
| 有形固定資産        |             |             | 長期借入金         | 15,124      | 15,986      |
| 建物及び構築物(純額)   | 202,848     | 206,246     | 繰延税金負債        | 59,378      | 55,289      |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 440,595     | 559,992     | 退職給付に係る負債     | 36,243      | 41,456      |
| 土地            | 92,577      | 90,159      | その他           | 18,803      | 18,011      |
| 建設仮勘定         | 367,309     | 290,901     | 固定負債合計        | 129,549     | 130,743     |
| その他(純額)       | 16,584      | 17,850      | 負債合計          | 507,343     | 493,990     |
| 有形固定資産合計      | 1,119,915   | 1,165,149   |               |             |             |
|               |             |             | 百万円           |             |             |
| 無形固定資産        | 10,099      | 8,922       | 純資産の部         | 2020        | 2021        |
|               |             |             | 株主資本          |             |             |
|               |             |             | 資本金           | 119,419     | 119,419     |
|               |             |             | 資本剰余金         | 128,323     | 128,954     |
|               |             |             | 利益剰余金         | 2,413,769   | 2,616,081   |
|               |             |             | 自己株式          | (7,123)     | (12,612)    |
|               |             |             | 株主資本合計        | 2,654,388   | 2,851,842   |
| 投資その他の資産      |             |             | その他の包括利益累計額   |             |             |
| 投資有価証券        | 126,060     | 150,573     | その他有価証券評価差額金  | 10,296      | 25,027      |
| 退職給付に係る資産     | 3,788       | 3,782       | 繰延ヘッジ損益       | (2,799)     | (2,703)     |
| 繰延税金資産        | 63,735      | 58,703      | 為替換算調整勘定      | (8,187)     | (58,618)    |
| その他           | 84,657      | 80,756      | 退職給付に係る調整累計額  | (1,387)     | (2,409)     |
| 貸倒引当金         | (2,291)     | (2,180)     | その他の包括利益累計額合計 | (2,078)     | (38,704)    |
| 投資その他の資産合計    | 275,950     | 291,635     |               |             |             |
| 固定資産合計        | 1,405,965   | 1,465,706   | 新株予約権         | 1,904       | 2,014       |
| 資産合計          | ¥ 3,230,485 | ¥ 3,380,615 | 非支配株主持分       | 68,927      | 71,473      |
|               |             |             | 純資産合計         | 2,723,141   | 2,886,625   |
|               |             |             | 負債純資産合計       | ¥ 3,230,485 | ¥ 3,380,615 |

連結損益計算書

信越化学工業株式会社および連結子会社 2020年および2021年3月期

| 百万円               |             |             |
|-------------------|-------------|-------------|
|                   | 2020        | 2021        |
| 売上高               | ¥ 1,543,525 | ¥ 1,496,906 |
| 売上原価              | 987,782     | 953,203     |
| 売上総利益             | 555,743     | 543,702     |
| 販売費及び一般管理費        | 149,702     | 151,489     |
| 営業利益              | 406,041     | 392,213     |
| 営業外収益(損失)         |             |             |
| 受取利息              | 10,777      | 5,016       |
| 受取配当金             | 7,388       | 7,417       |
| 持分法による投資利益(損)     | 4,327       | 5,364       |
| 支払利息              | (749)       | (728)       |
| 固定資産除却損           | (1,202)     | (1,954)     |
| その他(純額)           | (8,340)     | (2,227)     |
| 経常利益              | 418,242     | 405,101     |
| 特別利益              |             |             |
| 投資有価証券売却益         | 7,774       | -           |
| 特別損失              |             |             |
| 災害による損失           | -           | 2,955       |
| 税金等調整前当期純利益       | 426,017     | 402,145     |
| 法人税、住民税及び事業税      | 108,290     | 105,356     |
| 法人税等調整額           | (564)       | (2,387)     |
| 法人税等合計            | 107,726     | 102,968     |
| 当期純利益             | 318,290     | 299,177     |
| 非支配株主に帰属する当期純利益   | (4,263)     | (5,444)     |
| 親会社株主に帰属する当期純利益   | ¥ 314,027   | ¥ 293,732   |
|                   |             |             |
| 1株当たり情報           |             |             |
| 1株当たり当期純利益        | ¥ 755.17    | ¥ 706.76    |
| 潜在株式調整後1株当たり当期純利益 | 755.01      | 706.26      |
| 配当金               | 220.00      | 250.00      |
| 期中平均株式数(千株)       | 415,838     | 415,602     |

連結包括利益計算書

信越化学工業株式会社および連結子会社 2020年および2021年3月期

| 百万円              |           |           |
|------------------|-----------|-----------|
|                  | 2020      | 2021      |
| 当期純利益            | ¥ 318,290 | ¥ 299,177 |
| その他の包括利益         |           |           |
| その他有価証券評価差額金     | (12,732)  | 14,787    |
| 繰延ヘッジ損益          | (2,530)   | 93        |
| 為替換算調整勘定         | (13,642)  | (50,887)  |
| 退職給付に係る調整額       | (2,371)   | (1,010)   |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | (125)     | 70        |
| その他の包括利益合計       | (31,401)  | (36,946)  |
| 包括利益             | ¥ 286,889 | ¥ 262,230 |
|                  |           |           |
| (内訳)             |           |           |
| 親会社株主に係る包括利益     | ¥ 283,128 | ¥ 257,106 |
| 非支配株主に係る包括利益     | 3,760     | 5,123     |

連結株主資本等変動計算書

信越化学工業株式会社および連結子会社

|                     | 千株       |          | 百万円      |            |           |            |
|---------------------|----------|----------|----------|------------|-----------|------------|
|                     | 発行済株式数   | 株主資本     |          |            |           |            |
|                     |          | 資本金      | 資本剰余金    | 利益剰余金      | 自己株式      | 株主資本合計     |
| 2019年4月1日現在残高       | 427,606  | ¥119,419 | ¥128,299 | ¥2,283,760 | ¥(94,702) | ¥2,436,777 |
| 剰余金の配当              |          |          |          | (87,410)   |           | (87,410)   |
| 親会社株主に帰属する当期純利益     |          |          |          | 314,027    |           | 314,027    |
| 自己株式の取得             |          |          |          |            | (10,566)  | (10,566)   |
| 自己株式の処分             |          |          | 145      |            | 1,391     | 1,537      |
| 自己株式の消却             | (10,943) |          | (96,753) |            | 96,753    |            |
| 利益剰余金から資本剰余金への振替    |          |          | 96,608   | (96,608)   |           |            |
| その他                 |          |          | 23       |            |           | 23         |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) |          |          |          |            |           |            |
| 2020年3月31日現在残高      | 416,662  | ¥119,419 | ¥128,323 | ¥2,413,769 | ¥(7,123)  | ¥2,654,388 |

|                     | 百万円              |             |              |                  |                   |        |             |            |
|---------------------|------------------|-------------|--------------|------------------|-------------------|--------|-------------|------------|
|                     | その他の包括利益累計額      |             |              |                  |                   |        |             | 純資産合計      |
|                     | その他有価証券<br>評価差額金 | 繰延ヘッジ<br>損益 | 為替換算<br>調整勘定 | 退職給付に係る<br>調整累計額 | その他の包括<br>利益累計額合計 | 新株予約権  | 非支配<br>株主持分 |            |
| 2019年4月1日現在残高       | ¥22,955          | ¥(266)      | ¥5,143       | ¥987             | ¥28,820           | ¥1,143 | ¥65,814     | ¥2,532,556 |
| 剰余金の配当              |                  |             |              |                  |                   |        |             | (87,410)   |
| 親会社株主に帰属する当期純利益     |                  |             |              |                  |                   |        |             | 314,027    |
| 自己株式の取得             |                  |             |              |                  |                   |        |             | (10,566)   |
| 自己株式の処分             |                  |             |              |                  |                   |        |             | 1,537      |
| 自己株式の消却             |                  |             |              |                  |                   |        |             |            |
| 利益剰余金から資本剰余金への振替    |                  |             |              |                  |                   |        |             |            |
| その他                 |                  |             |              |                  |                   |        |             | 23         |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | (12,659)         | (2,533)     | (13,331)     | (2,375)          | (30,899)          | 760    | 3,112       | (27,026)   |
| 2020年3月31日現在残高      | ¥10,296          | ¥(2,799)    | ¥(8,187)     | ¥(1,387)         | ¥(2,078)          | ¥1,904 | ¥68,927     | ¥2,723,141 |

|                     | 千株      |          | 百万円      |            |           |            |
|---------------------|---------|----------|----------|------------|-----------|------------|
|                     | 発行済株式数  | 株主資本     |          |            |           |            |
|                     |         | 資本金      | 資本剰余金    | 利益剰余金      | 自己株式      | 株主資本合計     |
| 2020年4月1日現在残高       | 416,662 | ¥119,419 | ¥128,323 | ¥2,413,769 | ¥(7,123)  | ¥2,654,388 |
| 剰余金の配当              |         |          |          | (91,420)   |           | (91,420)   |
| 親会社株主に帰属する当期純利益     |         |          |          | 293,732    |           | 293,732    |
| 自己株式の取得             |         |          |          |            | (10,657)  | (10,657)   |
| 自己株式の処分             |         |          | 627      |            | 5,167     | 5,795      |
| その他                 |         |          | 3        |            |           | 3          |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) |         |          |          |            |           |            |
| 2021年3月31日現在残高      | 416,662 | ¥119,419 | ¥128,954 | ¥2,616,081 | ¥(12,612) | ¥2,851,842 |

|                     | 百万円              |             |              |                  |                   |        |             |            |
|---------------------|------------------|-------------|--------------|------------------|-------------------|--------|-------------|------------|
|                     | その他の包括利益累計額      |             |              |                  |                   |        |             | 純資産合計      |
|                     | その他有価証券<br>評価差額金 | 繰延ヘッジ<br>損益 | 為替換算<br>調整勘定 | 退職給付に係る<br>調整累計額 | その他の包括<br>利益累計額合計 | 新株予約権  | 非支配<br>株主持分 |            |
| 2020年4月1日現在残高       | ¥10,296          | ¥(2,799)    | ¥(8,187)     | ¥(1,387)         | ¥(2,078)          | ¥1,904 | ¥68,927     | ¥2,723,141 |
| 剰余金の配当              |                  |             |              |                  |                   |        |             | (91,420)   |
| 親会社株主に帰属する当期純利益     |                  |             |              |                  |                   |        |             | 293,732    |
| 自己株式の取得             |                  |             |              |                  |                   |        |             | (10,657)   |
| 自己株式の処分             |                  |             |              |                  |                   |        |             | 5,795      |
| その他                 |                  |             |              |                  |                   |        |             | 3          |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | 14,730           | 95          | (50,430)     | (1,021)          | (36,625)          | 110    | 2,546       | (33,969)   |
| 2021年3月31日現在残高      | ¥25,027          | ¥(2,703)    | ¥(58,618)    | ¥(2,409)         | ¥(38,704)         | ¥2,014 | ¥71,473     | ¥2,886,625 |

連結キャッシュ・フロー計算書

信越化学工業株式会社および連結子会社 2020年および2021年3月期

|                          | 2020      | 2021      |
|--------------------------|-----------|-----------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー         |           |           |
| 税金等調整前当期純利益              | ¥ 426,017 | ¥ 402,145 |
| 減価償却費                    | 131,172   | 143,807   |
| 減損損失                     | 912       | 936       |
| 退職給付に係る負債の増減額(減少)        | 2,723     | 2,860     |
| 投資有価証券売却損益(益)            | (7,774)   | (1,687)   |
| 投資有価証券評価損益(益)            | －         | 520       |
| 貸倒引当金の増減額(減少)            | (493)     | (1,185)   |
| 受取利息及び受取配当金              | (18,166)  | (12,434)  |
| 支払利息                     | 749       | 728       |
| 為替差損益(益)                 | 3,464     | (4,909)   |
| 持分法による投資損益(益)            | (4,327)   | (5,364)   |
| 売上債権の増減額(増加)             | 11,215    | (22,016)  |
| 災害による損失                  | －         | 2,955     |
| たな卸資産の増減額(増加)            | (36,910)  | (3,898)   |
| 長期前渡金の増減額(増加)            | 3,579     | 4,109     |
| 仕入債務の増減額(減少)             | (3,892)   | (9,584)   |
| その他                      | (7,404)   | (8,859)   |
| 小計                       | 500,865   | 488,123   |
| 利息及び配当金の受取額              | 19,852    | 15,026    |
| 利息の支払額                   | (508)     | (571)     |
| 法人税等の支払額                 | (107,824) | (101,402) |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー         | 412,384   | 401,176   |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー         |           |           |
| 定期預金の純増減額(増加)            | (127,525) | (12,334)  |
| 有価証券の取得による支出             | (117,000) | (87,500)  |
| 有価証券の償還による収入             | 115,936   | 82,354    |
| 有形固定資産の取得による支出           | (268,365) | (236,195) |
| 有形固定資産の売却による収入           | 65        | 3,836     |
| 無形固定資産の取得による支出           | (1,063)   | (1,177)   |
| 投資有価証券の取得による支出           | (6,520)   | (3,616)   |
| 投資有価証券の売却による収入           | 12,606    | 3,471     |
| 貸付けによる支出                 | (74)      | (70)      |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出 | (1,966)   | －         |
| 貸付金の回収による収入              | 615       | 461       |
| その他                      | (1,256)   | 51        |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー         | (394,547) | (250,719) |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー         |           |           |
| 短期借入金の純増減額(減少)           | 1,265     | 701       |
| 長期借入れによる収入               | 8,384     | 4,578     |
| 長期借入金の返済による支出            | (743)     | (796)     |
| 自己株式の取得による支出             | (10,566)  | (10,657)  |
| 自己株式の売却による収入             | 1,398     | 5,150     |
| 配当金の支払額                  | (87,410)  | (91,420)  |
| 非支配株主への配当金の支払額           | (1,077)   | (1,249)   |
| その他                      | (5,306)   | 2,569     |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー         | (94,055)  | (91,123)  |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額         | (7,001)   | (2,861)   |
| 現金及び現金同等物の増減額(減少)        | (83,220)  | 56,471    |
| 現金及び現金同等物の期首残高           | 828,345   | 745,125   |
| 現金及び現金同等物の期末残高           | ¥ 745,125 | ¥ 801,596 |



信越化学グループ主要拠点

( )内の数字は国際電話国番号

| 北米        |                         |                             |                                                          |                   |
|-----------|-------------------------|-----------------------------|----------------------------------------------------------|-------------------|
| 米国<br>(1) | シンテックINC.               | 塩化ビニル樹脂の製造・販売               | #3 Greenway Plaza, Suite 1150, Houston, TX 77046, U.S.A. | Tel. 713-965-0713 |
|           | シンエツ ハンドウタイ アメリカINC.    | 半導体シリコンウエハーの製造・販売           | 4111 NE 112th Ave., Vancouver, WA 98682-6776, U.S.A.     | Tel. 360-883-7000 |
|           | シンエツ シリコンズ オブ アメリカ INC. | シリコン製品の製造・販売                | 1150 Damar Drive, Akron, OH 44305, U.S.A.                | Tel. 330-630-9860 |
|           | K-Bin INC.              | 塩化ビニルコンパウンドの製造・販売           | #3 Greenway Plaza, Suite 1150, Houston, TX 77046, U.S.A. | Tel. 713-965-0713 |
|           | シンエツ マイクロサイINC.         | エレクトロニクス材料の販売               | 10028 South 51st St., Phoenix, AZ 85044, U.S.A.          | Tel. 480-893-8898 |
|           | S Eタイロース USA INC.       | セルロース誘導体の製造・販売              | 26270 Highway 405 Plaquemine, LA 70764, U.S.A.           | Tel. 225-309-0110 |
|           | シンエツ マグネティクスINC.        | レア・アースおよび<br>レア・アースマグネットの販売 | 2372 Gume Drive, Suite B, San Jose, CA 95131, U.S.A.     | Tel. 408-383-9240 |

| 南米           |                                         |                            |                                                                                                      |                                                   |
|--------------|-----------------------------------------|----------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------|
| ブラジル<br>(55) | シンエツド ブラジル ヘブゼンタソン<br>デ プロツトス キミコスLTDA. | シリコン製品、<br>セルロース誘導体の販売サポート | Rua Coronel Oscar Porto, 736 – 8º<br>Andar – Sala 84 Paraíso São Paulo –<br>SP Brasil CEP: 04003-003 | Tel. 11-3939-0690(シリコン)<br>11-3939-0692(セルロース誘導体) |

| 欧州             |                             |                               |                                                                                              |                    |
|----------------|-----------------------------|-------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|
| オランダ<br>(31)   | シンエツ シリコンズ ヨーロッパ<br>B.V.    | シリコン製品の製造・販売                  | Bolderweg 32,1332 AV, Almere,<br>The Netherlands                                             | Tel. 36-549-3170   |
|                | シンエツ インターナショナル<br>ヨーロッパB.V. | 各種化学品、電子材料などの販売               | World Trade Center Amsterdam,<br>Strawinskylaan B-827 1077 XX,<br>Amsterdam, The Netherlands | Tel. 20-662-1359   |
|                | シンエツPVC B.V.                | 塩化ビニルモノマーおよび<br>塩化ビニル樹脂の製造・販売 | Building Noorderhaeve,<br>Noorderweg 68 1221 AB,<br>Hilversum, The Netherlands               | Tel. 35-689-8010   |
| ポルトガル<br>(351) | シレスLDA.                     | 塩化ビニル樹脂の製造・販売                 | Rua da Cires nr.8, 3860-160 Avanca,<br>Estarreja, Portugal                                   | Tel. 234-811-200   |
| イギリス<br>(44)   | シンエツ ハンドウタイ<br>ヨーロッパLTD.    | 半導体シリコンウエハーの製造・販売             | Wilson Road, Toll Roundabout,<br>Eliburn, Livingston, West Lothian<br>EH54 7DA, U.K.         | Tel. 1506-41-5555  |
| ドイツ<br>(49)    | SEタイロースGmbH & Co. KG        | セルロース誘導体の製造・販売                | Kasteler Strasse 45, 65203<br>Wiesbaden, Germany                                             | Tel. 611-962-04    |
|                | シンエツ マグネティクス<br>ヨーロッパ GmbH  | レア・アース製品およびマグネットの販売           | Gerbermuehlstrasse 7, 60594<br>Frankfurt am Main, Germany                                    | Tel. 69-8700-31611 |

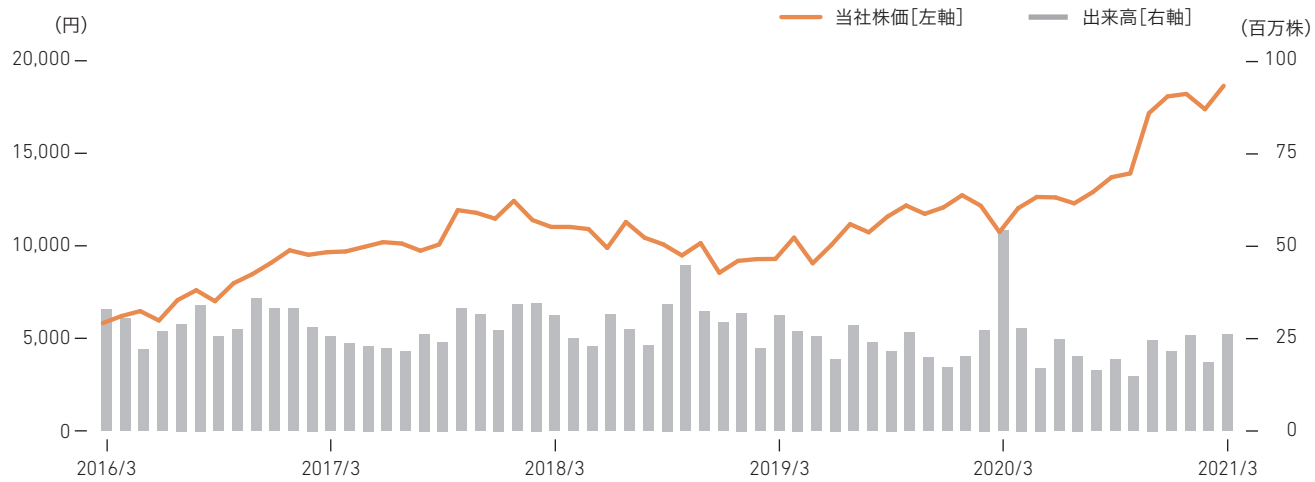
| アジア・オセアニア       |                                        |                                |                                                                                                                       |                       |
|-----------------|----------------------------------------|--------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|
| マレーシア<br>(60)   | S.E.H.マレーシアSDN. BHD.                   | 半導体シリコンウエハーの<br>製造・加工・販売       | Lot No.2, Lorong Enggang 35,<br>Ulu Klang Free Trade Zone, 54200<br>Selangor Darul Ehsan, Malaysia                    | Tel. 3-4259-6600      |
|                 | シンエツ マレーシアSDN. BHD.                    | レア・アースマグネット<br>およびVCMの製造・販売    | Lot 50, Jalan Serendah 26/17,<br>HICOM Industrial Estate, 40400 Shah<br>Alam, Selangor Darul Ehsan, Malaysia          | Tel. 3-5191-2233      |
|                 | S.E.H.シャーラムSDN. BHD.                   | 半導体シリコンウエハーの製造・加工              | Lot No.8, Jalan Sementa 27/91,<br>Seksyen 27, 40400 Shah Alam,<br>Selangor Darul Ehsan, Malaysia                      | Tel. 3-5123-7000      |
|                 | シンエツ エレクトロニクス<br>マレーシアSDN. BHD.        | エポキシ樹脂封止材料の製造・販売               | Lot 50, Jalan Serendah 26/17,<br>HICOM Industrial Estate, 40400 Shah<br>Alam, Selangor Darul Ehsan, Malaysia          | Tel. 3-5192-1081      |
|                 | シンエツ エレクトロニクス<br>マテリアルズ ペナン SDN. BHD.  | シリコン/エポキシ材料に関する<br>カスタマー技術サポート | Lot P22, Phase 4, Free Industrial Zone,<br>Bayan Lepas, 11900, Penang, Malaysia                                       | Tel. 4-6437008        |
| オーストラリア<br>(61) | シムコア オペレーションズPTY.LTD.                  | 金属ケイ素の製造・販売                    | 973, Marriott Road, Wellesley,<br>WA 6233, Australia                                                                  | Tel. 897-80-6744      |
| ベトナム<br>(84)    | シンエツ エレクトロニクス マテリアルズ<br>ベトナム CO., LTD. | LED用材料の製造・販売                   | Plot No. A-7, Thang Long Industrial Park II<br>Yen My district, Hung Yen province, Viet Nam                           | Tel. 221-3974-880/881 |
|                 | シンエツ マグネティック マテリアルズ<br>ベトナム CO., LTD.  | レア・アースおよび<br>レア・アースマグネットの製造    | Lot CN5.2D, Petro-chemical Area,<br>Dinh Vu industrial Zone, Dong Hai 2 Ward,<br>Hai An District, Hai Phong, Viet Nam | Tel. 225-325-0518     |
| フィリピン<br>(63)   | シンエツ マグネティクス フィリピンINC.                 | マグネット製品の製造・販売                  | 125 East Main Avenue, Special Export<br>Processing Zone,Laguna, Technopark<br>Binan, Laguna 4034, Philippines         | Tel. 49-541-3191      |
| シンガポール<br>(65)  | シンエツ シンガポールPTE. LTD.                   | シリコン製品の販売                      | 4 Shenton Way #10-03/06 SGX<br>Centre II, Singapore 068807                                                            | Tel. 6743-7277        |
|                 | シンエツ ハンドウタイ<br>シンガポール PTE.LTD.         | 半導体シリコンウエハーの販売                 | 8 Temasek Boulevard, #21-05 Suntec<br>Tower Three, Singapore 038988                                                   | Tel. 6293-5160        |

|             |                            |                                                            |                                                                                                                 |                    |
|-------------|----------------------------|------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|
| タイ<br>(66)  | シンエツ シリコンズ タイランドLTD.       | シリコン製品の製造・販売                                               | 7th Floor, Harindhorn Tower,<br>54 North Sathorn Road, Bangkok<br>10500, Thailand                               | Tel. 2-632-2941    |
|             | アジア シリコンズ モノマーLTD.         | シリコンモノマーの製造・販売                                             | 1 Moo 2 Asia Industrial Estate,<br>Tambol Banchang, Amphur<br>Banchang, Rayong 21130, Thailand                  | Tel. 38-687-050    |
|             | シンエツ マグネティクス タイランド<br>LTD. | VCMの製造                                                     | 60/120,122,123 Moo19, Tambol<br>Klongnueng, Amphur Klongluang,<br>Pathumthani 12120, Thailand                   | Tel. 2-520-4293    |
| 日本<br>(81)  | 信濃電気製錬(株)                  | 炭化ケイ素製品の製造・販売                                              | 〒101-0048<br>東京都千代田区神田司町2-4-2(神田アーバンビル)                                                                         | Tel. 03-5298-1601  |
|             | 日信化学工業(株)                  | 合成樹脂エマルジョン等の製造・販売                                          | 〒915-0802<br>福井県越前市北府2-17-33                                                                                    | Tel. 0778-22-5100  |
|             | 信越ポリマー(株)                  | 合成樹脂製品の製造・販売                                               | 〒101-0041<br>東京都千代田区神田須田町1-9(相鉄神田須田町ビル)                                                                         | Tel. 03-5289-3712  |
|             | 信越アステック(株)                 | 化学製品等の販売および建築                                              | 〒101-0047<br>東京都千代田区内神田2-2-1(鎌倉河岸ビル)                                                                            | Tel. 03-5298-3211  |
|             | 長野電子工業(株)                  | 半導体シリコンウエハー等の<br>製造・加工・販売                                  | 〒387-8555<br>長野県千曲市屋代1393                                                                                       | Tel. 026-261-3100  |
|             | 信越半導体(株)                   | 半導体シリコン・化合物半導体の<br>製造・販売                                   | 〒100-0004<br>東京都千代田区大手町2-2-1(新大手町ビル)                                                                            | Tel. 03-3243-1500  |
|             | 鹿島電解(株)                    | 電解事業(苛性ソーダ、塩素の製造販売)                                        | 〒314-0102<br>茨城県神栖市東和田3番地                                                                                       | Tel. 0299-96-2311  |
|             | 鹿島塩ビモノマー(株)                | 塩化ビニルモノマーの製造・販売                                            | 〒314-0102<br>茨城県神栖市東和田2                                                                                         | Tel. 0299-96-3415  |
|             | 直江津電子工業(株)                 | 半導体シリコンウエハーの<br>製造・加工・販売                                   | 〒942-0193<br>新潟県上越市頸城区城野腰596-2                                                                                  | Tel. 025-530-2631  |
|             | 直江津精密加工(株)                 | マスク基板・その他電子材料の<br>製造・加工・販売                                 | 〒949-3115<br>新潟県上越市大潟区茨柿浜字五ヶ割935番地1                                                                             | Tel. 025-534-4980  |
|             | 信越石英(株)                    | 石英ガラス製品の製造・販売                                              | 〒160-0023<br>東京都新宿区西新宿1-22-2(新宿サンエービル)                                                                          | Tel. 03-3348-1912  |
|             | 信越フィルム(株)                  | コンデンサー用ほか<br>各種フィルム等の製造・販売                                 | 〒915-0802<br>福井県越前市北府2-1-5                                                                                      | Tel. 0778-23-8066  |
| 韓国<br>(82)  | 信越エンジニアリング(株)              | 化学プラント等の設計・建設、液晶、<br>PDP等のフラットパネルディスプレイ<br>(FPD)製造装置の製造・販売 | 〒101-0054<br>東京都千代田区神田錦町2-9(コンフォール安田ビル)                                                                         | Tel. 03-3296-1080  |
|             | 日本許ビ・ポパール(株)               | 酢酸ビニルモノマー、ポパール等の<br>製造・販売                                  | 〒592-8331<br>大阪府堺市西区築港新町3-11-1                                                                                  | Tel. 072-245-1131  |
|             | 丸喜化学工業(株)                  | 合成樹脂シート・合成皮革の製造・加工・販売                                      | 〒270-1406<br>千葉県白井市中403番地14                                                                                     | Tel. 047-491-9566  |
|             | (株)タツノ化学                   | 各種合成樹脂の製造・加工・販売                                            | 〒130-0002<br>東京都墨田区業平一丁目21番9号あさひ墨田ビル6階                                                                          | Tel. 03-5637-2022  |
|             | 韓国信越シリコン(株)                | シリコン製品の製造・販売                                               | GT Tower 15F, 411,<br>Seocho-daero, Seocho-gu,<br>Seoul 06615, Korea                                            | Tel. 2-590-2500    |
|             | 韓国信越先端材料(株)                | フォトレジスト、マスクブランクスの販売                                        | Keungil Tower 17F, 223, Teheran-ro,<br>Gangnam-gu, Seoul 06142, Korea                                           | Tel. 2-6964-7750   |
|             | 浙江信越精細化工有限公司               | シリコン製品の製造・販売                                               | No.66, Lizheng Road, Jiashan<br>Economic Development Zone,<br>Zhejiang Sheng 314116, China                      | Tel. 573-8475-5071 |
|             | 信越有机硅(南通)有限公司              | シリコン製品の製造・販売                                               | Tongdalu 85, Economic & Technological<br>Development Area,Nantong City,<br>Jiangsu Province, P.R. 226017, China | Tel. 513-5108-8688 |
|             | 信越有机硅国際貿易(上海)有限公司          | シリコン製品の販売                                                  | 29F Junyao International Plaza,<br>No.789, Zhao Jia Bang Road,<br>Shanghai 200032, China                        | Tel. 21-6443-5550  |
|             | 信越有机硅国際貿易(上海)有限公司<br>広州分公司 | シリコン製品の販売                                                  | Room 2409-2410, Tower B, China Shine Plaza,<br>9 Linhexi-road, Tianhe, Guangzhou,<br>Guangdong, China 510610    | Tel. 20-3831-0212  |
| 中国<br>(86)  | 信越科技(蘇州)有限公司               | レア・アースマグネットの販売                                             | Block4, No.1 of Qiming Road, Suzhou<br>Industrial Park, Jiangsu 215126, China                                   | Tel. 512-6276-3270 |
|             | 信越(江蘇)光棒有限公司               | 光ファイバー用プリフォームの製造・販売                                        | No.8, Runhua Road, Ligang Zhen, Jiangyin,<br>Jiangsu 214444, China                                              | Tel. 510-8609-6060 |
|             | 信越(江陰)光棒商貿有限公司             | 光ファイバー用プリフォームの販売、<br>およびプリフォーム用原材料等の購入販売                   | No.8, Runhua Road, Ligang Zhen, Jiangyin,<br>Jiangsu 214444, China                                              | Tel. 510-8609-6108 |
|             | 長飛信越(湖北)光棒有限公司             | 光ファイバー用プリフォームの製造・販売                                        | Extra No.1 Changfei Avenue,<br>Jiangnan Salt & Chemical Industrial Park,<br>Qianjiang, Hubei, China             | Tel. 728-670-9777  |
|             | 台湾信越矽利光股份有限公司              | シリコン製品の製造・販売                                               | 11F-D, No.167, Tun Hua N. Road,<br>Taipei, 10549 Taiwan, R.O.C.                                                 | Tel. 2-2715-0055   |
| 台湾<br>(886) | 台湾信越半導体股份有限公司              | 半導体シリコンウエハーの製造・加工・販売                                       | No.12, Industry East Road 9,<br>Hsin-Chu Science Park, Hsin-Chu,<br>30075,Taiwan, R.O.C.                        | Tel. 3-577-1188    |
|             | 信越光電股份有限公司                 | 化合物半導体の製造・販売                                               | 3F, No.10 Dusing Rd 1,<br>Hsin-Chu Science Park, Hsin-Chu,<br>30078,Taiwan, R.O.C.                              | Tel. 3-578-4566    |
|             | 信越電子材料股份有限公司               | フォトレジストの製造、販売                                              | No.28, Kejia 6 Rd., Douliu City, Yunlin County<br>64057, Taiwan R.O.C.                                          | Tel. 5-551-1122    |

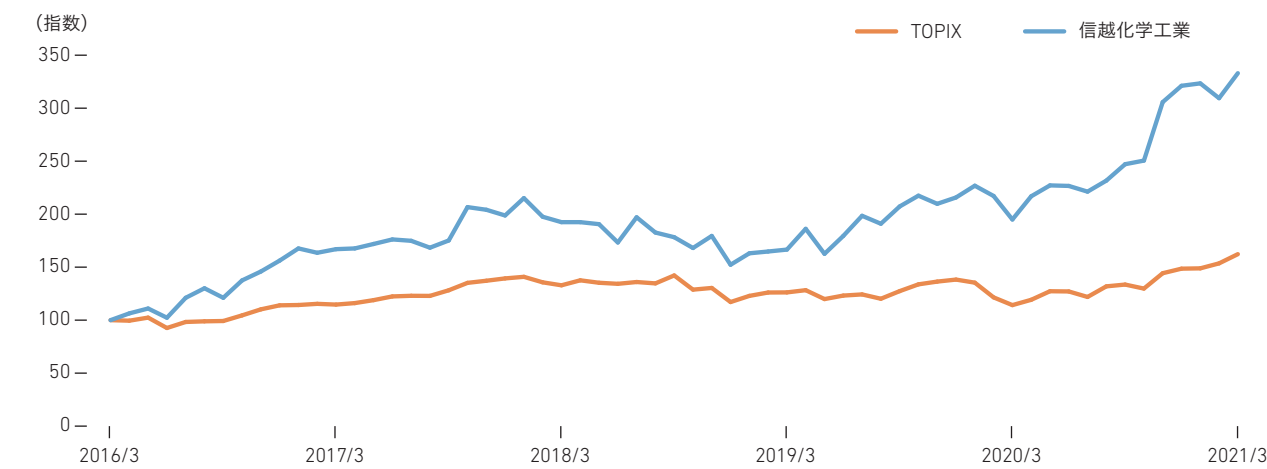
信越化学グループは、全145社(2021年3月31日現在)

## 投資家情報

### 過去5年間の株価・出来高推移



### 過去5年間の株主総利回り(TSR)



信越化学工業とTOPIXの値は、2016年3月末のデータを100とした指数です。

|      | 信越化学工業 | TOPIX |
|------|--------|-------|
| 2016 | 100    | 100   |
| 2017 | 168    | 114   |
| 2018 | 193    | 133   |
| 2019 | 167    | 126   |
| 2020 | 196    | 114   |
| 2021 | 335    | 162   |

※上記グラフと表は2016年3月末に投資を行った場合の、2021年3月末時点の配当と株価を加味した収益率を示しています。信越化学工業の株価に配当を加えた投資パフォーマンスについて、2016年3月末の投資額を100として指数化しています。比較指標である東証株価指数（TOPIX）も配当込みのデータを使用し、同様に指数化しています。

### 株式情報 (2021年3月31日現在)

|         |                                                                                                                                                    |
|---------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 商号      | 信越化学工業株式会社                                                                                                                                         |
| 本社      | 〒100-0004 東京都千代田区大手町二丁目6番1号<br>※2021年10月に下記に本社移転を予定しています。<br>〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号<br>丸の内永楽ビルディング                                            |
| 設立      | 1926年9月16日                                                                                                                                         |
| 資本金     | 119,419,688,785円                                                                                                                                   |
| 従業員数    | 24,069名(連結)                                                                                                                                        |
| 株式の状況   | 発行する株式の総数 1,720,000,000株<br>発行済株式総数* 416,662,793株<br>* 自己株式1,115,572株が含まれています。<br>単元株式数 100株<br>株主の総数 46,332名                                      |
| 上場証券取引所 | 東京・名古屋(証券コード4063)                                                                                                                                  |
| 決算日     | 3月31日                                                                                                                                              |
| 定時株主総会  | 毎年6月                                                                                                                                               |
| 株主名簿管理人 | 三菱UFJ信託銀行株式会社                                                                                                                                      |
| お問い合わせ  | 広報部 電話：03(3246)5091<br>FAX：03(3246)5096<br>メール：sec-pr@shinetsu.jp<br>※本社移転後の電話番号は以下の通りです。<br>(2021年10月移転予定)<br>電話：03(6812)2340<br>FAX：03(6812)2341 |

### 大株主 (千株未満は切捨て表示)

| 株主名                          | 持株数<br>(千株) | 出資比率<br>(%) |
|------------------------------|-------------|-------------|
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)      | 57,172      | 13.8        |
| 株式会社日本カストディ銀行(信託口)           | 25,695      | 6.2         |
| 日本生命保険相互会社                   | 21,933      | 5.3         |
| JP MORGAN CHASE BANK 385632  | 17,973      | 4.3         |
| 株式会社日本カストディ銀行(信託口4)          | 12,018      | 2.9         |
| 株式会社八十二銀行                    | 11,790      | 2.8         |
| 明治安田生命保険相互会社                 | 10,687      | 2.6         |
| SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT | 8,532       | 2.1         |
| GOVERNMENT OF NORWAY         | 8,227       | 2.0         |
| 株式会社日本カストディ銀行(信託口7)          | 6,839       | 1.6         |

(注)当社は、自己株式1,115,572株を保有していますが、上記の出資比率は自己株式を控除して計算しています。

### ウェブサイトのご案内

#### 信越化学について



<https://www.shinetsu.co.jp/jp/> (日本語)  
<https://www.shinetsu.co.jp/en/> (英語)  
<https://www.shinetsu.co.jp/cn/> (中国語)

#### IR情報



<https://www.shinetsu.co.jp/jp/ir/> (日本語)  
<https://www.shinetsu.co.jp/en/ir/> (英語)

#### サステナビリティ情報



<https://www.shinetsu.co.jp/jp/sustainability/> (日本語)  
<https://www.shinetsu.co.jp/en/sustainability/> (英語)





Orchestrating expertise and  
innovative mind on materials for better life

[www.shinetsu.co.jp](http://www.shinetsu.co.jp)



この冊子は環境にやさしい植物油インキとFSC®森林  
認証紙を使用しています。

見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。